



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2012年9月期 会社説明会 2012年5月26日



2012年9月期/
September.2012
証券コード/
Securities code
2362

2012年5月25日版

お品書き

・ 夢真の個性

・ 外部環境

・ 経営指標

・ 東北復興

・ 株主還元



事業ポートフォリオ



2012年3月31日現在

事業区分	会社名	事業内容
建築技術者派遣事業 (3,126百万円)	株式会社夢真ホールディングス	建築現場への技術者の派遣 ・ 施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣 施工図面作図請負
エンジニア派遣事業 (2,107百万円)	株式会社夢テクノロジー	エンジニアアウトソーシング ビジネスソリューション N&Sソリューション
	株式会社ユニテックソフト	システムエンジニア派遣
子育て支援事業 (141百万円)	株式会社我喜大笑	保育所運営 保育士及び一般事務派遣
医療介護支援事業 (56百万円)	株式会社夢真メディカルサポート	デイサービス施設運営 医師・歯科医開業支援

※ () 内は2012年9月期第2四半期の売上高

建築技術者派遣事業

建設業界人材の流動化ビジネス

- 施工管理技術者派遣
- CADオペレーター派遣

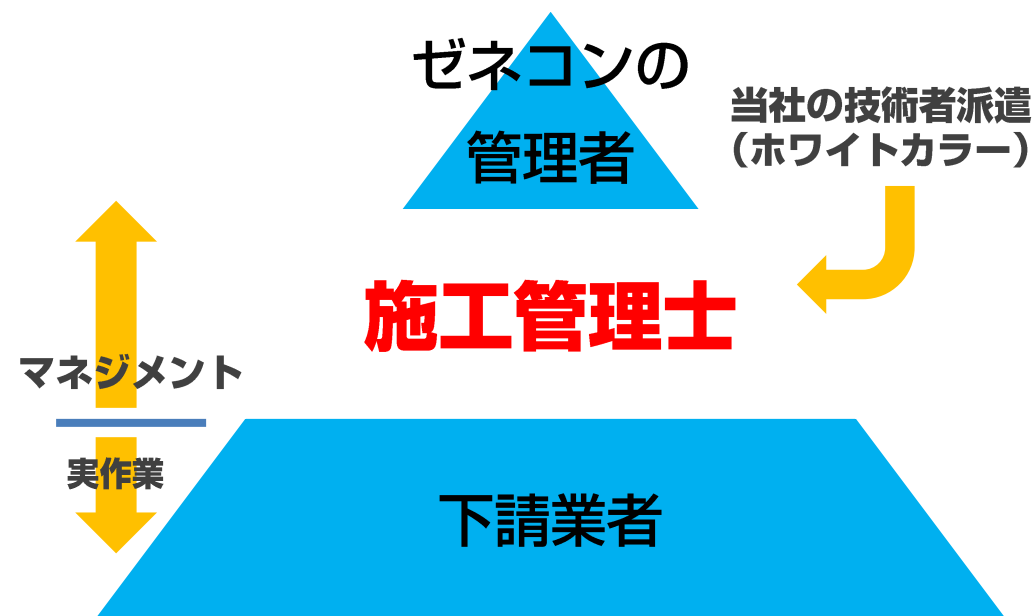
<建設業界の特徴>

1. 受注時期が不確定
2. 異なる建築現場
3. 短い納期へのニーズ
4. 労働集約型産業

人材を抱えづらい業界

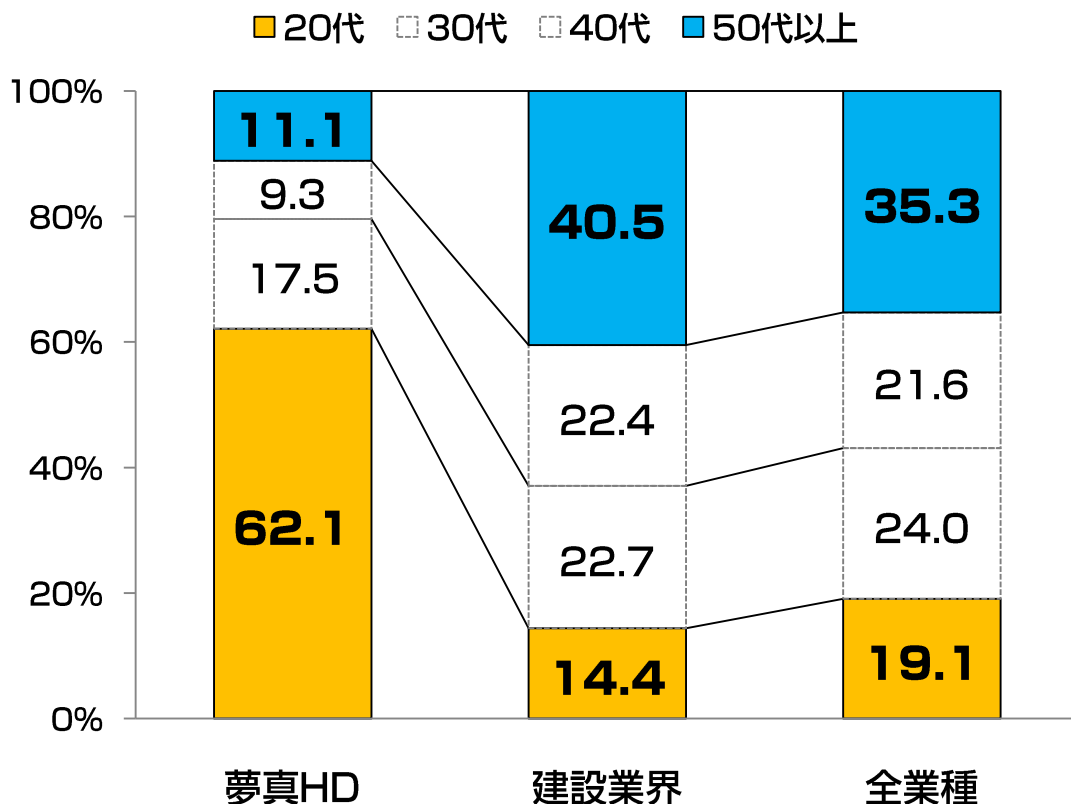
派遣に適した業界

一時的なコスト削減ではなく
継続的な固定費削減の提供



技術者派遣の特徴（1）若手に特化

年代別割合



建設業界の老齢化は全業種と比べて深刻

<要因>

- ☑ 建設業界の先行き不透明感から新卒採用見送り
- ☑ IT産業など新たな業種の台頭
- ☑ 技術者の育成環境の不足

夢真HDは…
若手技術者に特化
建設業界の新たな
担い手を供給

出典：経済産業省「業種アウトック」

技術者派遣の特徴 (2) 売上の分散化



顧客数約750社

特定の企業に依存しない体制を構築

売上高構成比

(%)

順位	2008年9月	構成比	2009年9月	構成比	2010年9月	構成比	2011年9月	構成比
1	(株)鴻池組	5.4	東急建設(株)	6.0	東急建設(株)	7.3	東急建設(株)	7.1
2	鹿島建設(株)	4.7	鹿島建設(株)	4.3	鹿島建設(株)	3.8	(株)鴻池組	4.2
3	東急建設(株)	4.7	前田建設工業(株)	3.8	(株)鴻池組	3.5	鹿島建設(株)	3.5
4	西松建設(株)	3.4	京王建設(株)	3.7	(株)竹中工務店	3.5	(株)竹中工務店	2.9
5	安藤建設(株)	3.2	(株)鴻池組	3.5	大和小田急建設(株)	3.0	大和小田急建設(株)	2.7
	上位5社計	21.4	上位5社計	21.3	上位5社計	21.1	上位5社計	20.4
	上位10社計	33.6	上位10社計	32.3	上位10社計	30.1	上位10社計	29.7

技術者派遣の特徴 (3) 施工実績

数多くの施工実績

オフィスビル・公共施設・マンション・都市開発など
その範囲は多岐にわたる

施工実績の一部



東京ミッドタウン



六本木ヒルズ



恵比寿
ガーデンプレイス



横浜
ランドマークタワー



夢 真の 個性



夢真ホールディングスの個性



**1. 上場企業で唯一
建築に特化した派遣会社**



2. 派遣会社随一の営業利益率



3. 派遣会社で突出した成長率

営業利益率 他社比較



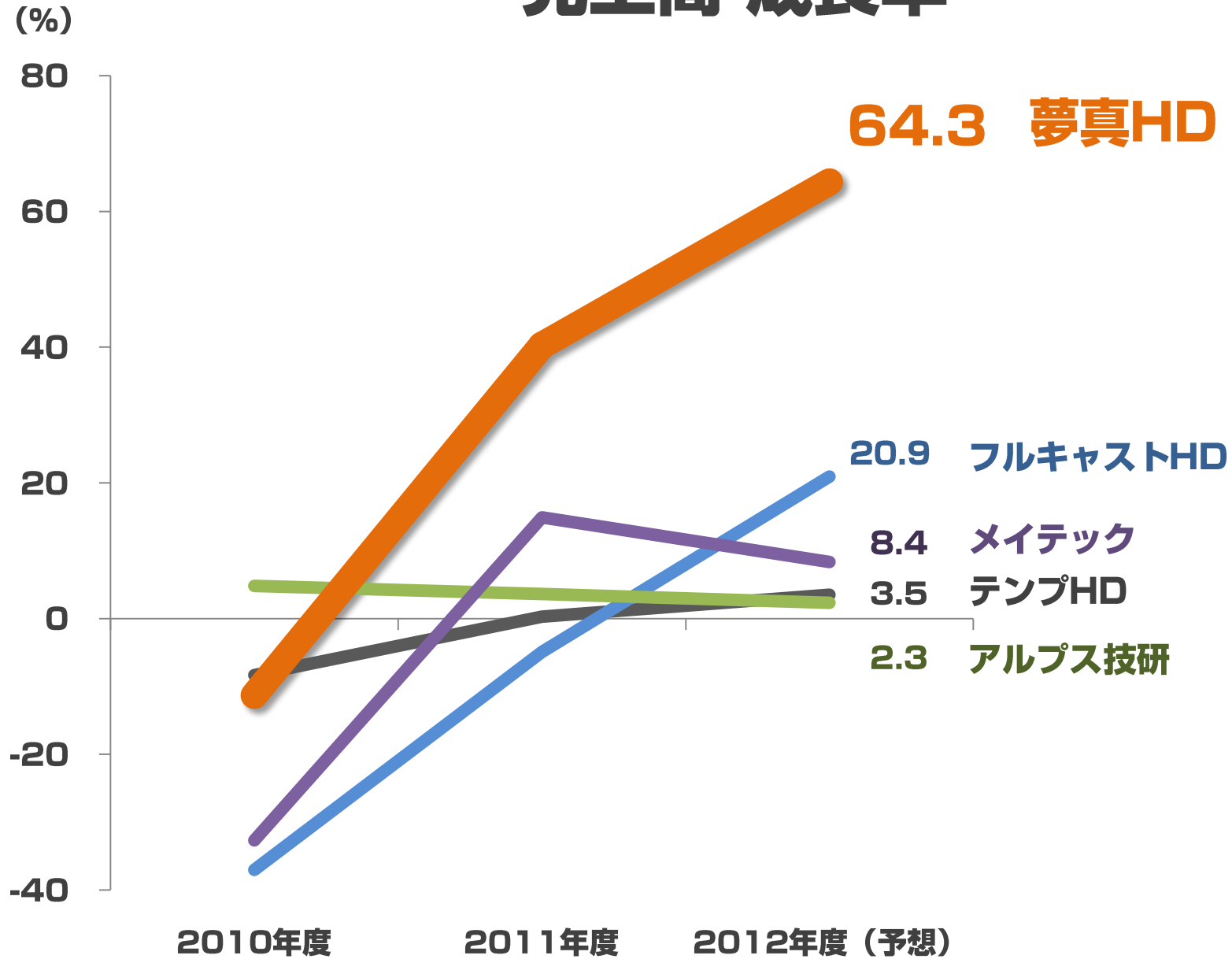
会社名	営業利益率
1位 夢真ホールディングス	7.95%
2位 アルプス技研	5.52%
3位 フルキャストHD	4.48%
4位 メイテック	4.24%
5位 テンプHD	2.55%

一般派遣・特定派遣会社含め

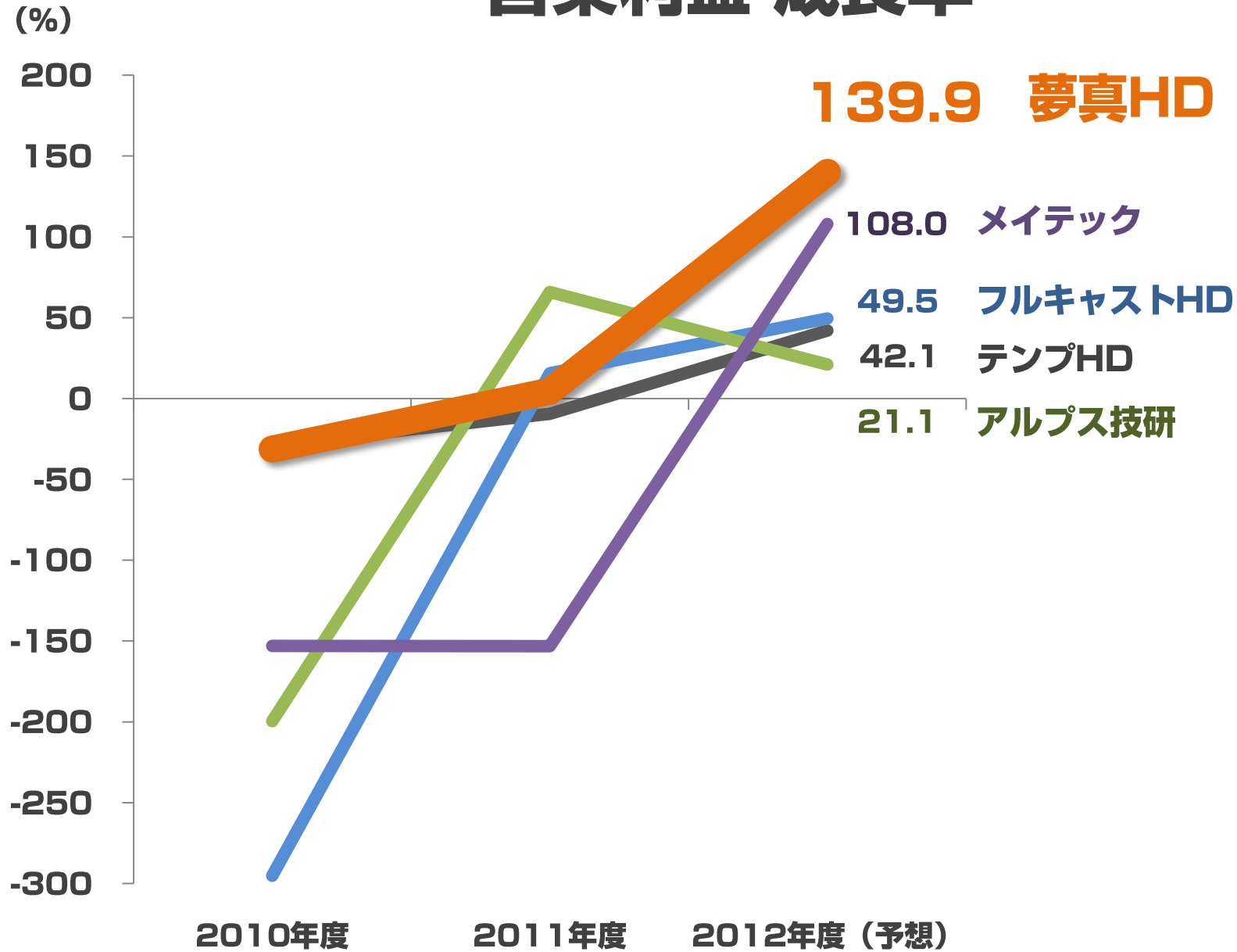
第1位

※ 1. 各社の開示資料を基に当社作成
2. 2011年度実績

売上高 成長率



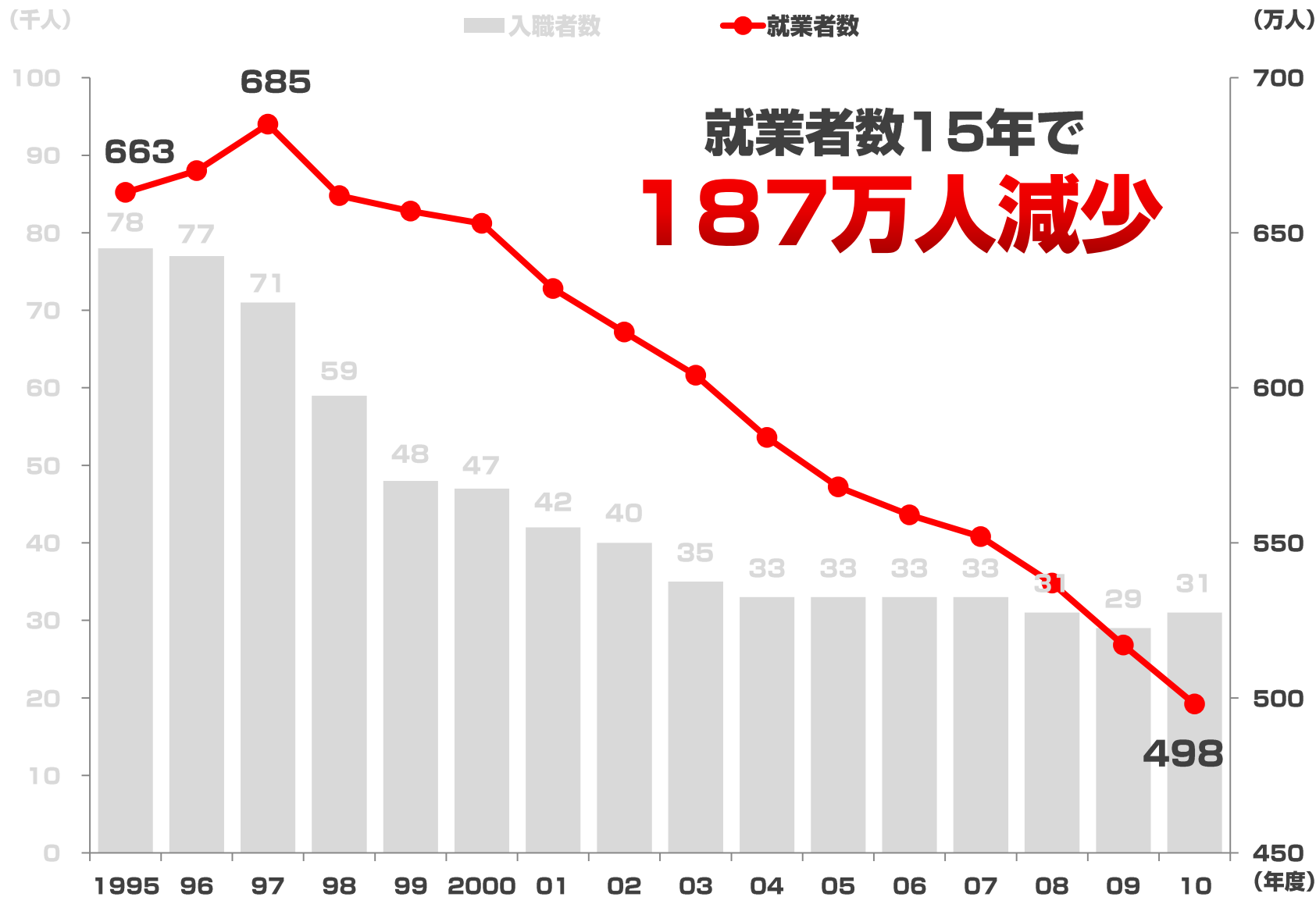
営業利益 成長率



外部環境

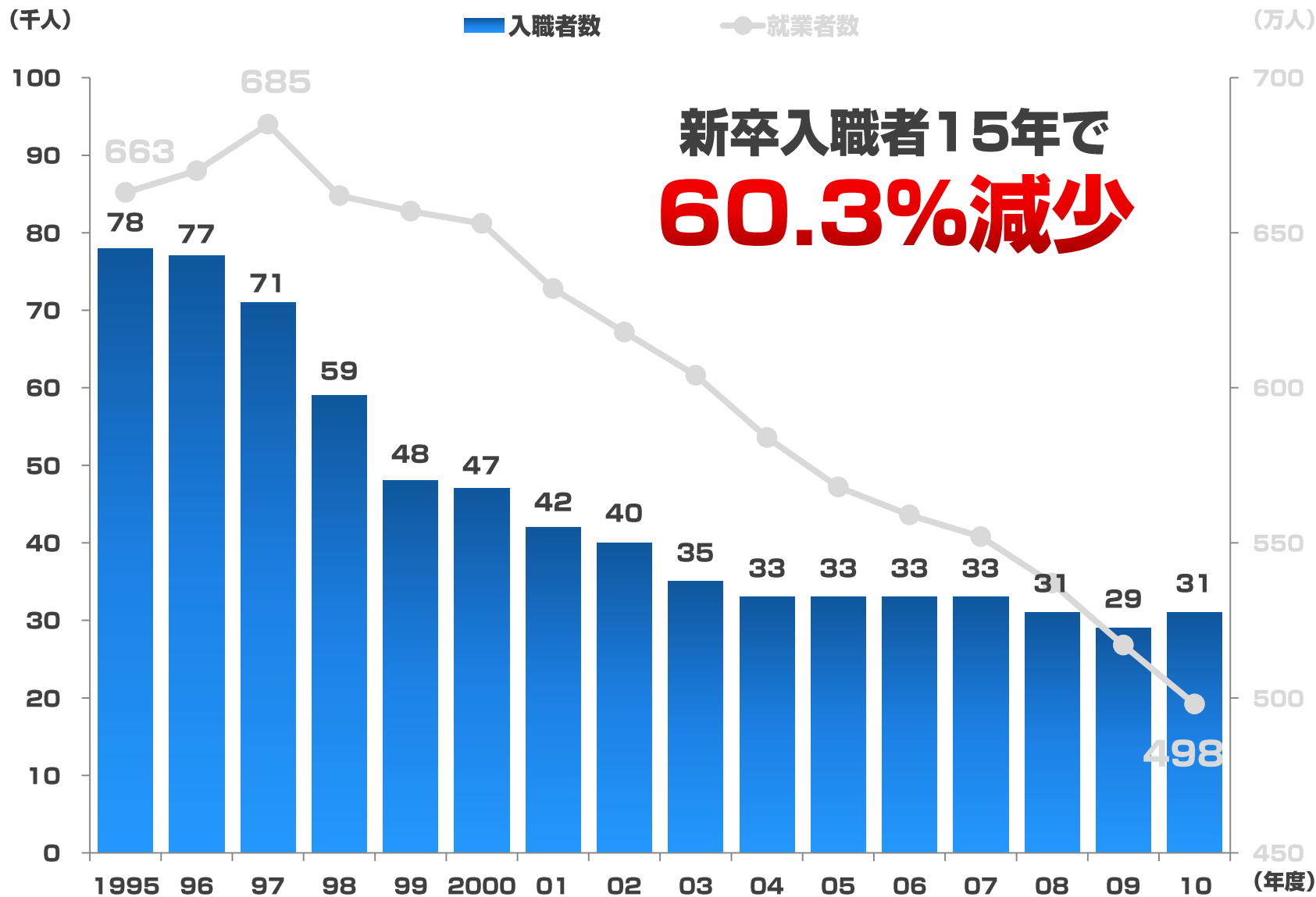


建設就業者数推移



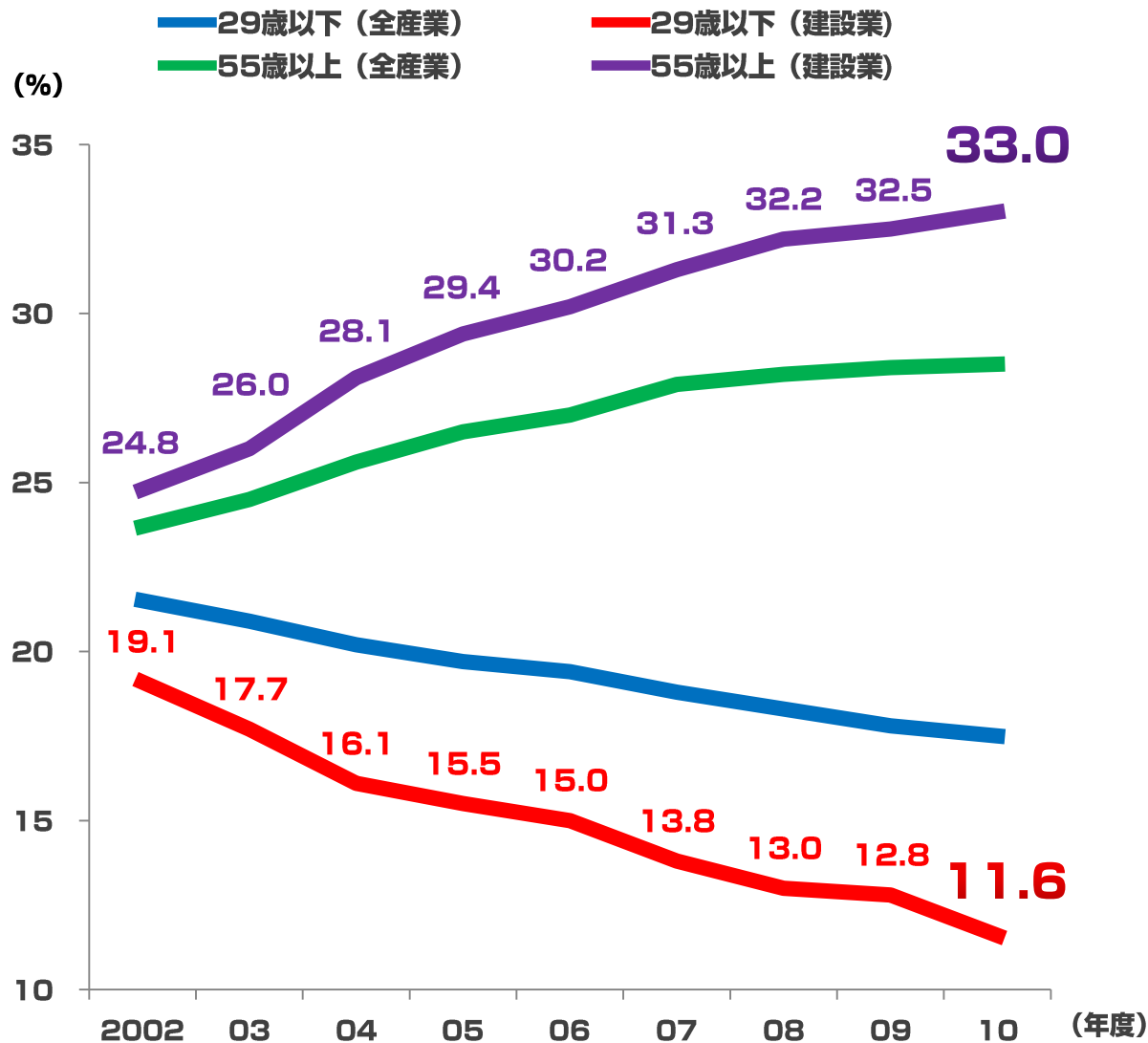
出典：社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2011」

新規学卒者入職状況



出典：社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2011」

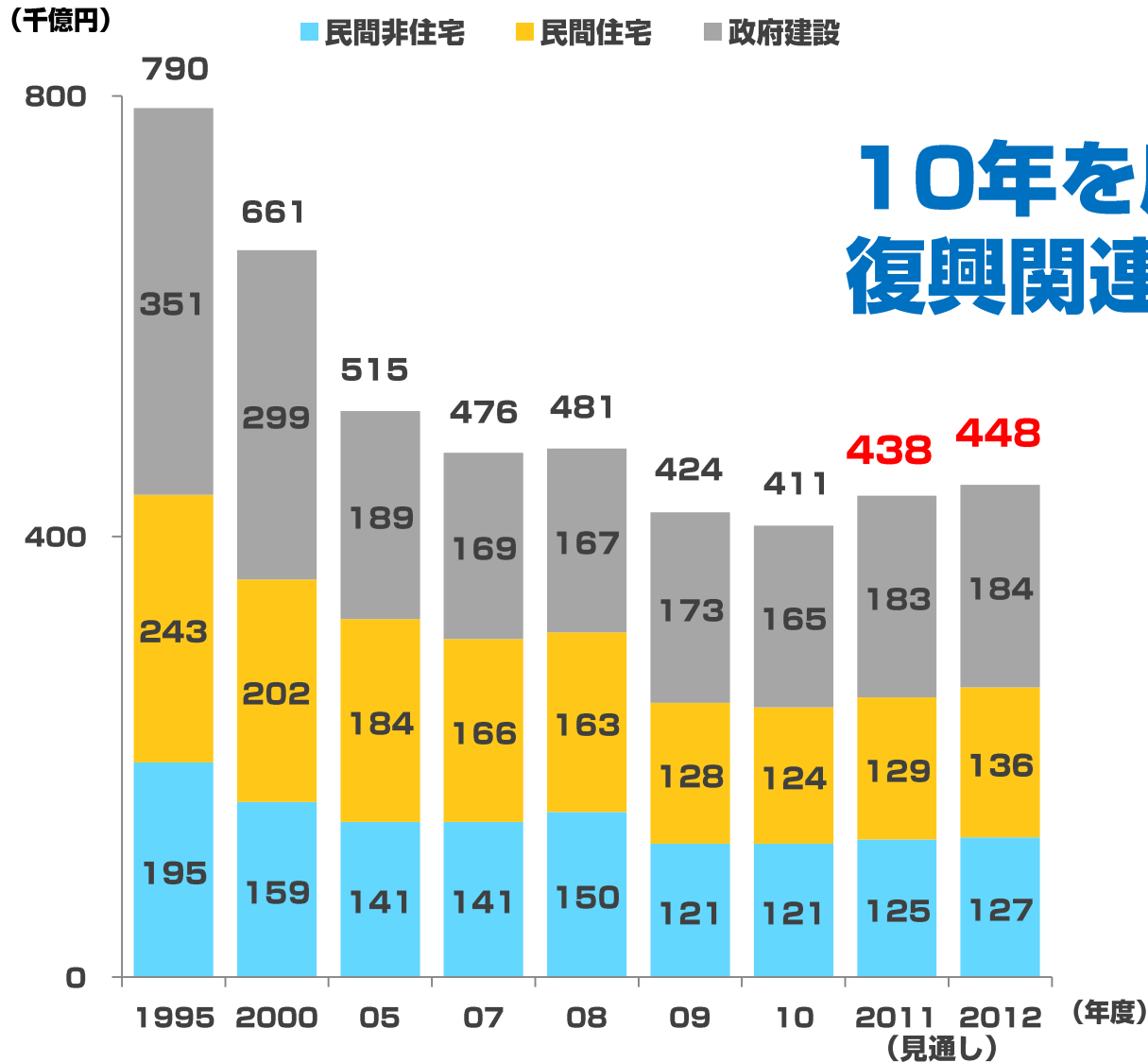
年齢別就業者割合



深刻な若手不足
更に…

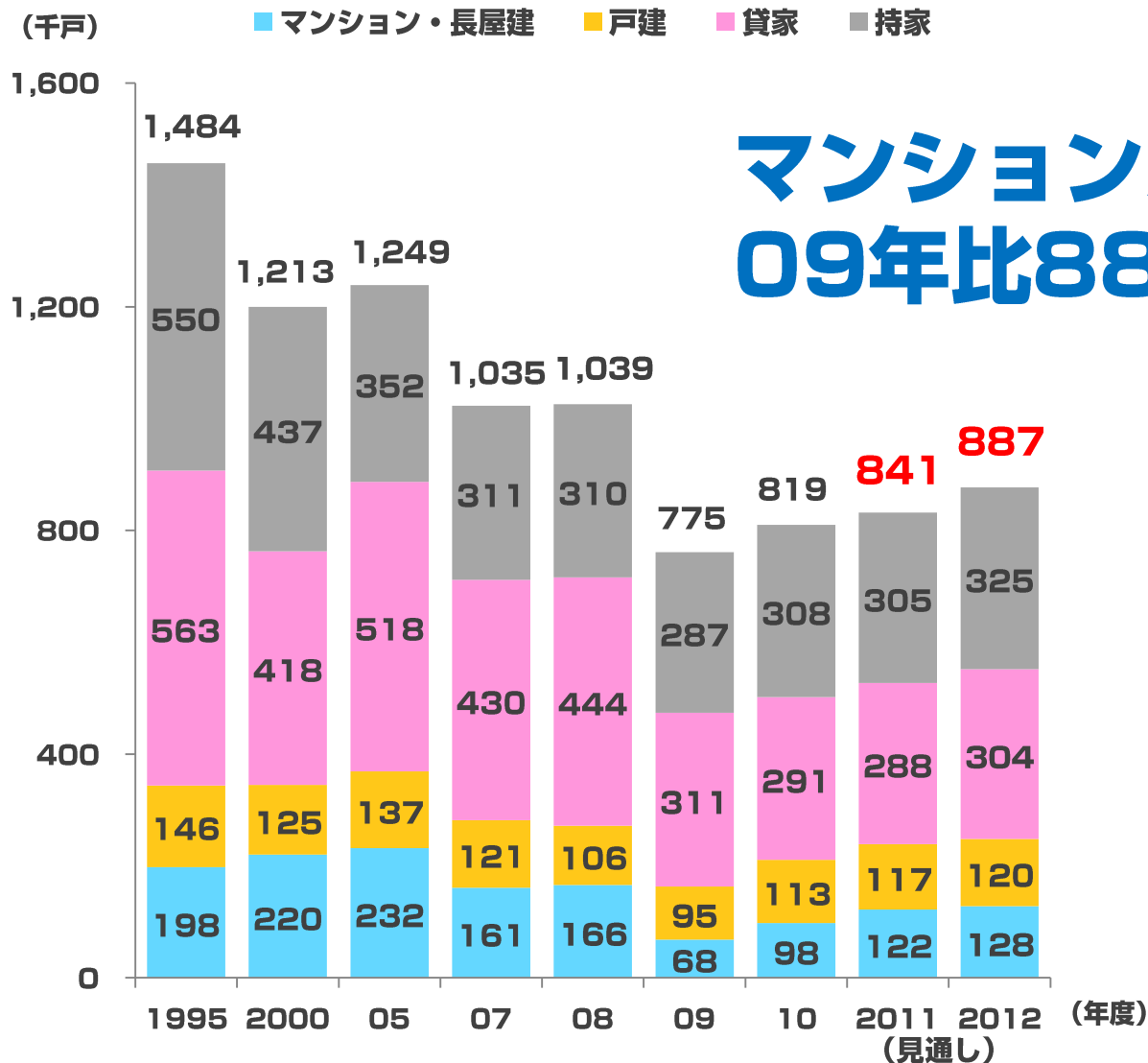
3人に1人が
55歳以上

建設投資の推移



10年を底に増加見通し
復興関連予算で上積みも

住宅着工の推移



マンションが大きく回復
09年比88.2%増加見通し

ハイライト



- 1. 建設就業者数・入職者数
共に15年で大幅減少**
- 2. 建設就業者 3人に1人が55歳以上**
- 3. 建設投資・住宅着工とも増加見通し**
- 4. 復興庁発足 復興工事の足音が**

ハイライト



1. 建設従業者数・入職者数
大幅減少

2. 建設従業者の55歳以上

3. 建設投資・住宅着工が減少し

4. 復興庁発足 復興工事の足音が

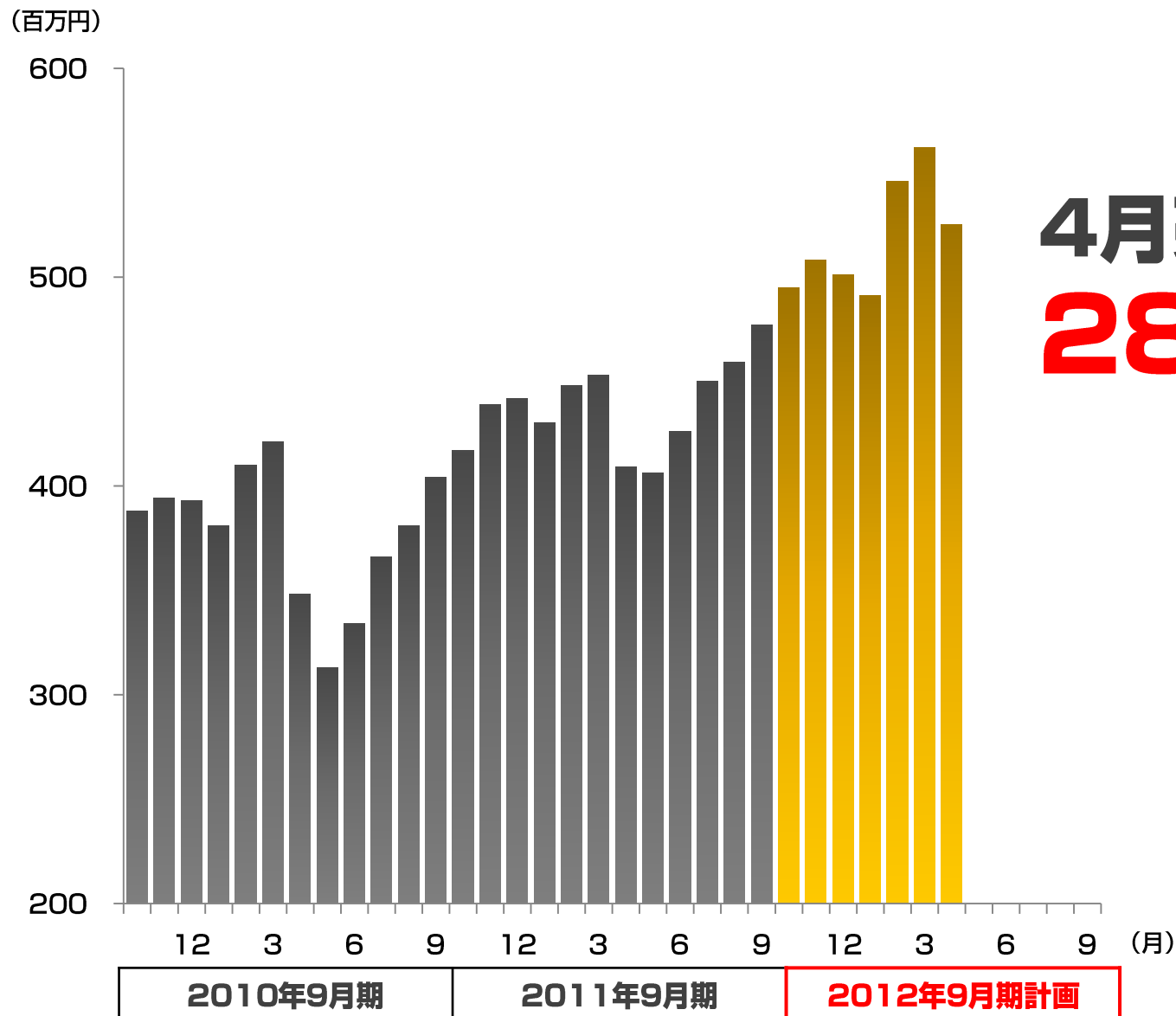
**次代の建設業を担う
技術者の確保が急務**



经营指标



月次売上高推移



売上構成4指標

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

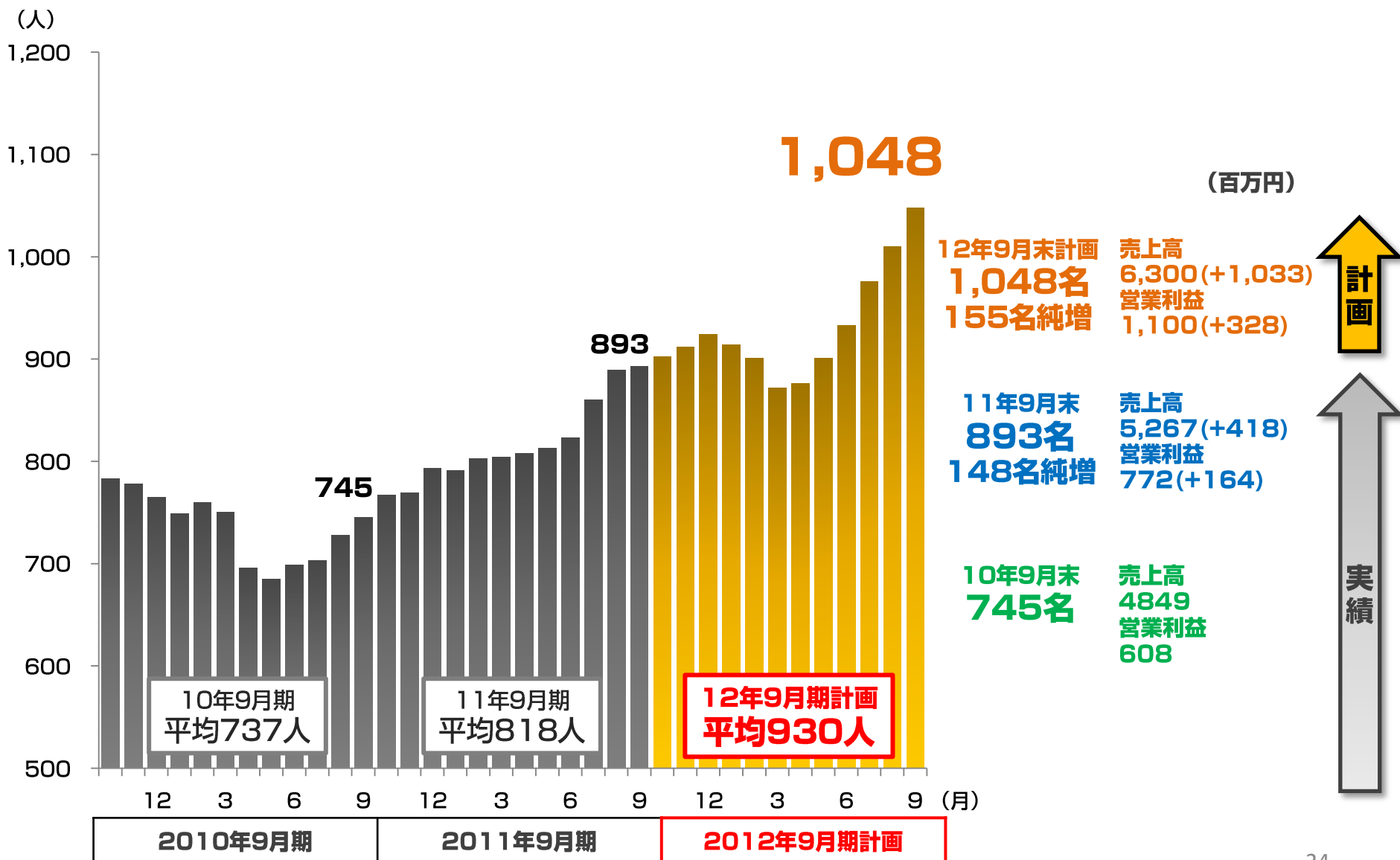
×

派遣単価



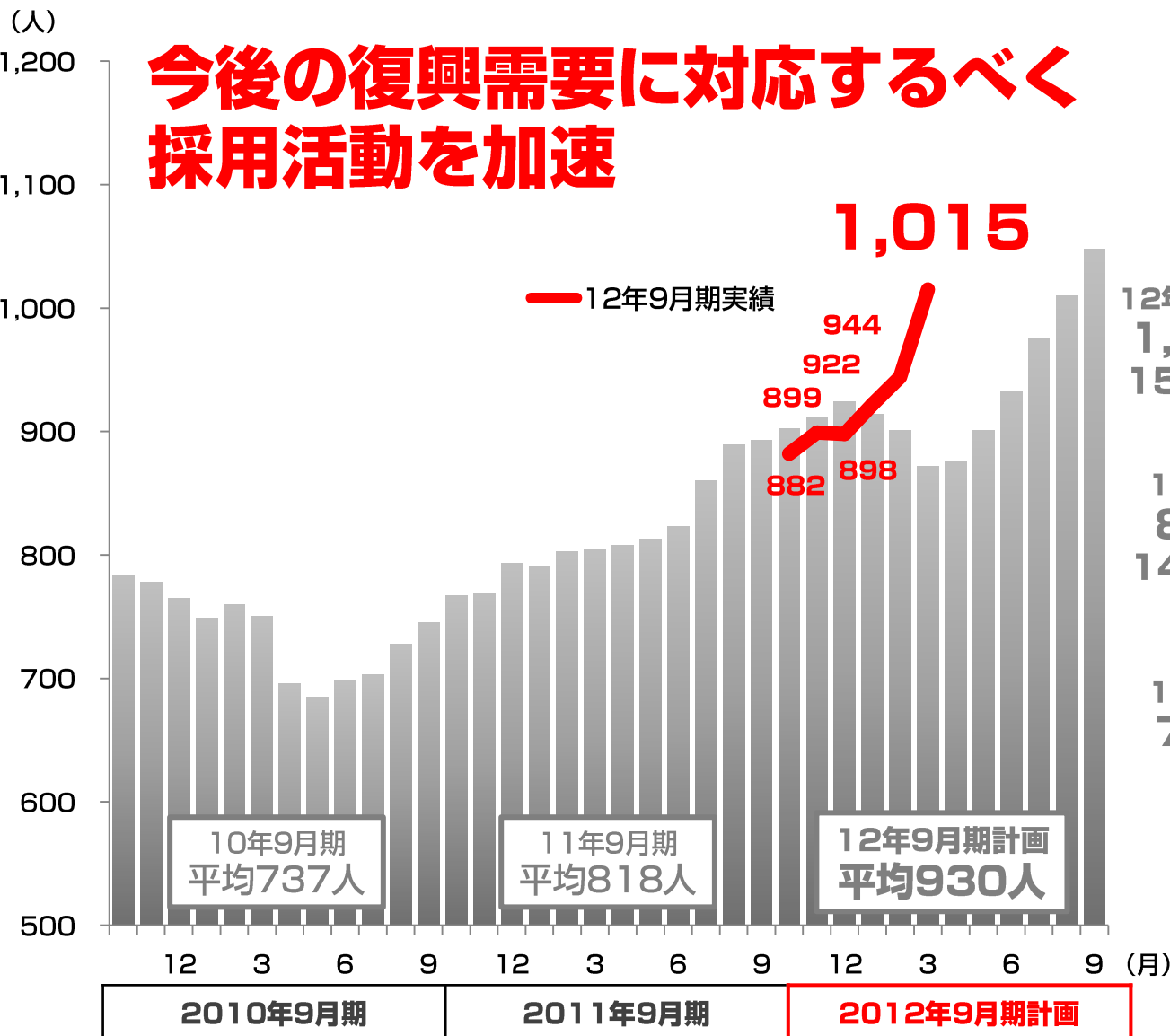
売上高

経営指標 (1) 技術者採用計画



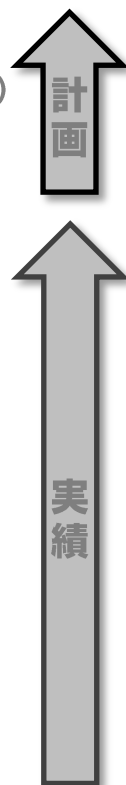
※各月末技術者数

経営指標 (1) 技術者採用計画



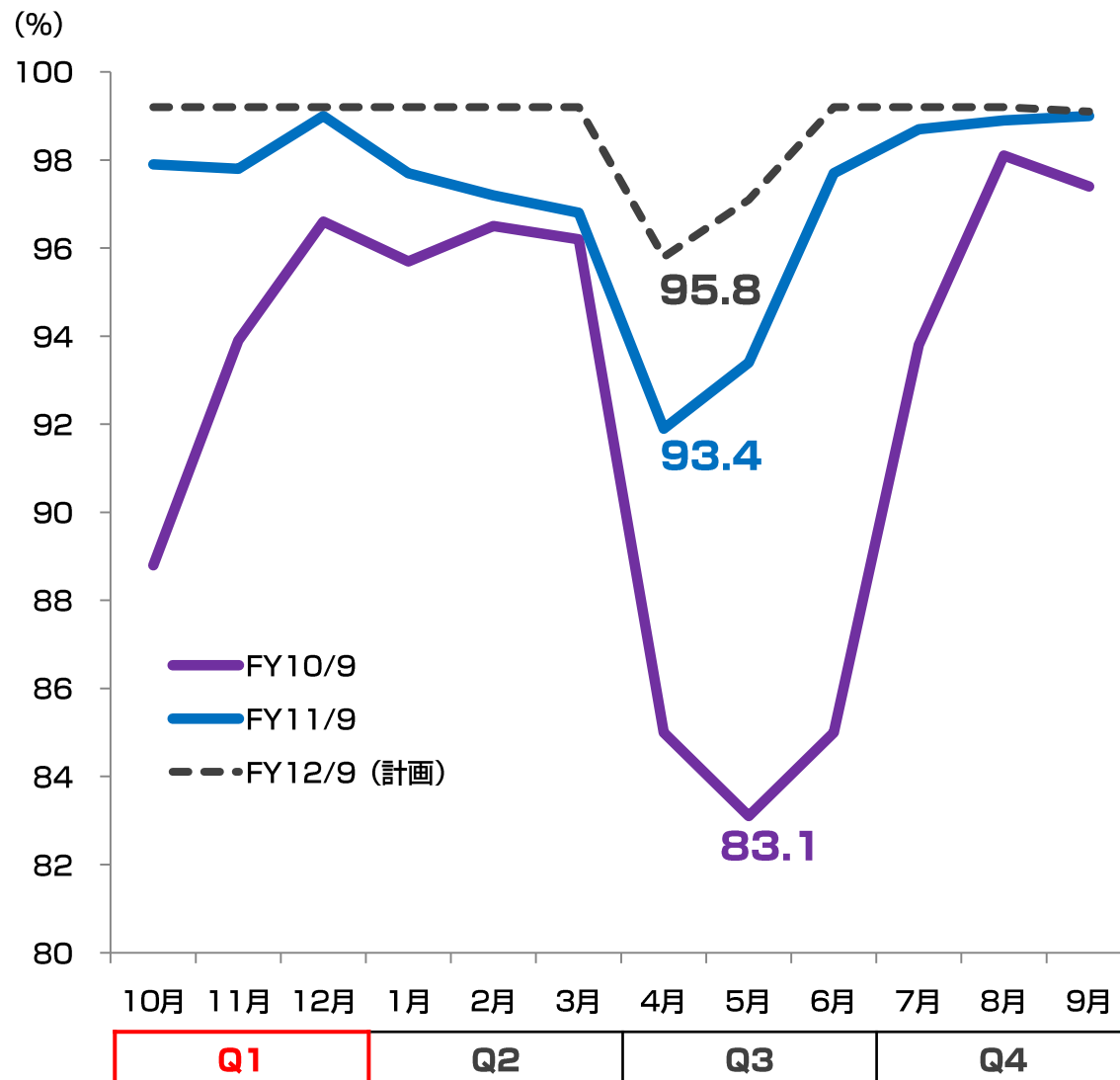
(百万円)

項目	12年9月末計画	11年9月末	10年9月末
売上高	6,300(+1,033)	5,267(+418)	4849
営業利益	1,100(+328)	772(+164)	608
技術者数	1,048名 155名純増	893名 148名純増	745名



※各月末技術者数

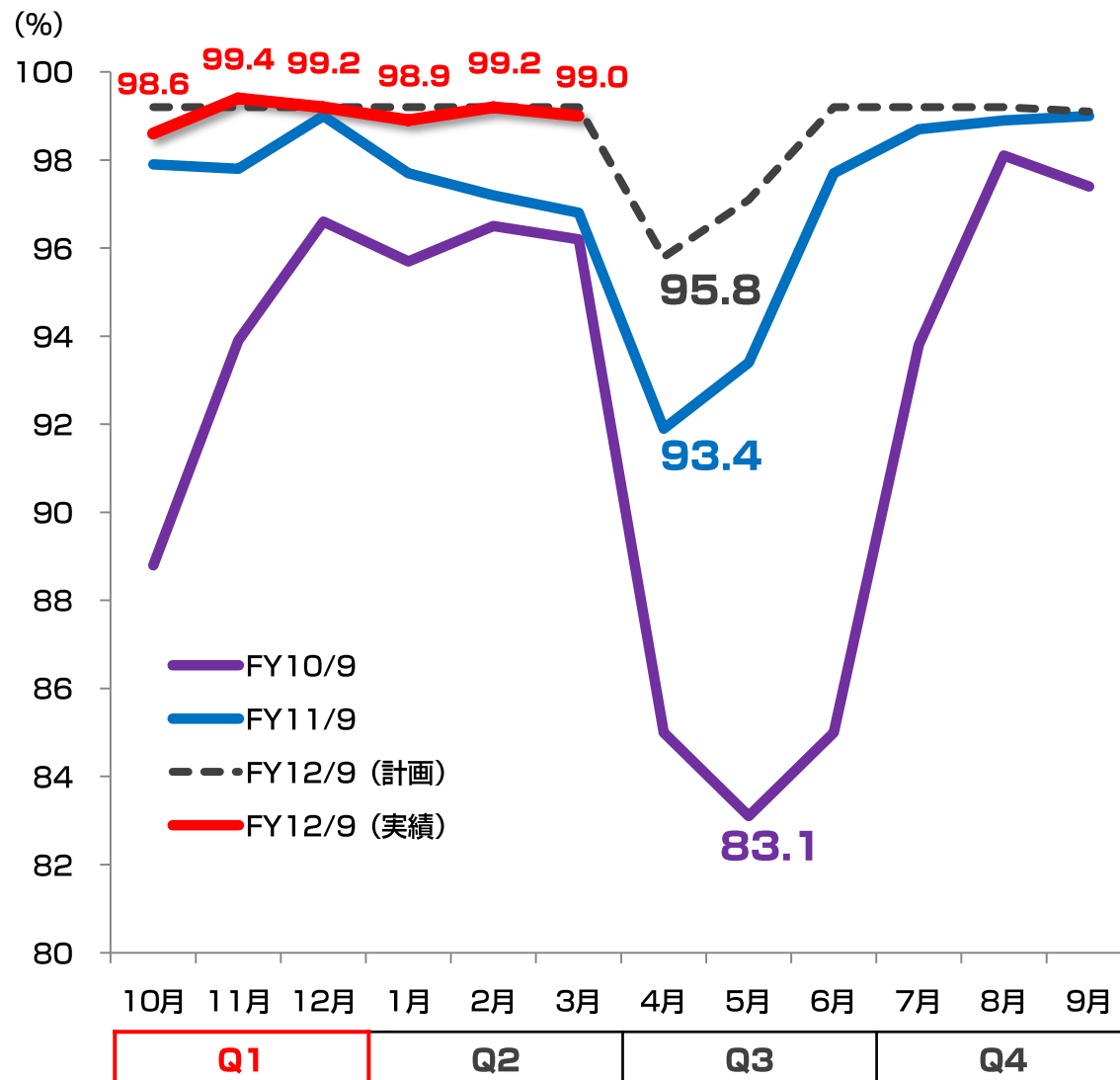
経営指標 (2) 稼働率の推移



平均98.7%目標

- ☑前年比1.5pt.増加の平均98.7%の稼働率を目指す
- ☑2011年7月頃より稼働率100%近い水準で推移
- ☑現場の減少・現場の着工直後等の要因から需要が減少する4月～6月も95%以上をキープ

経営指標 (2) 稼働率の推移

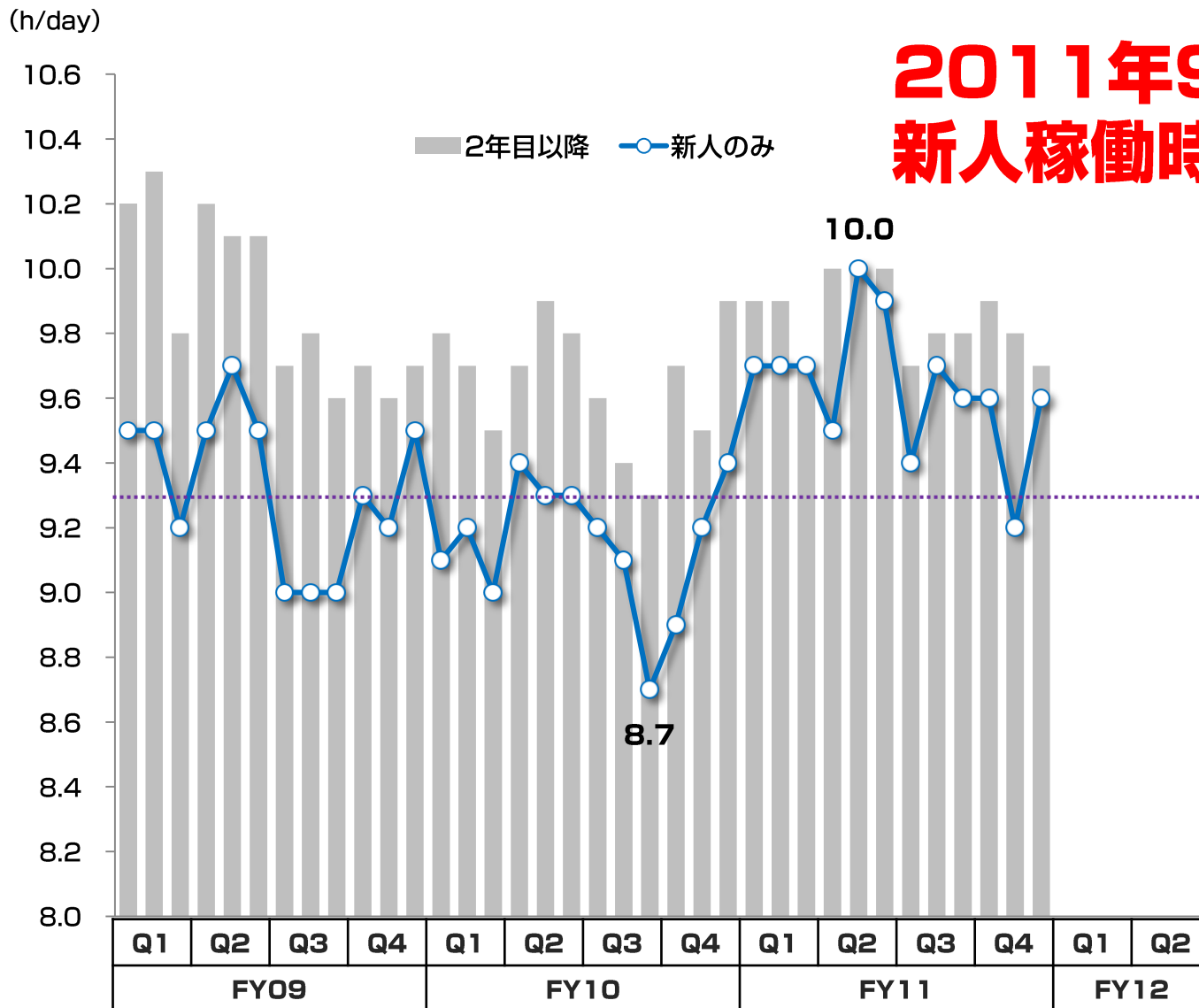


2012年9月期
11/10月~12/3月
平均99.1%
目標値を上回る水準で推移

平均98.7%目標

- ☑前年比1.5pt.増加の平均98.7%の稼働率を目指す
- ☑2011年7月頃より稼働率100%近い水準で推移
- ☑現場の減少・現場の着工直後等の要因から需要が減少する4月~6月も95%以上をキープ

経営指標 (3) 稼働時間の推移

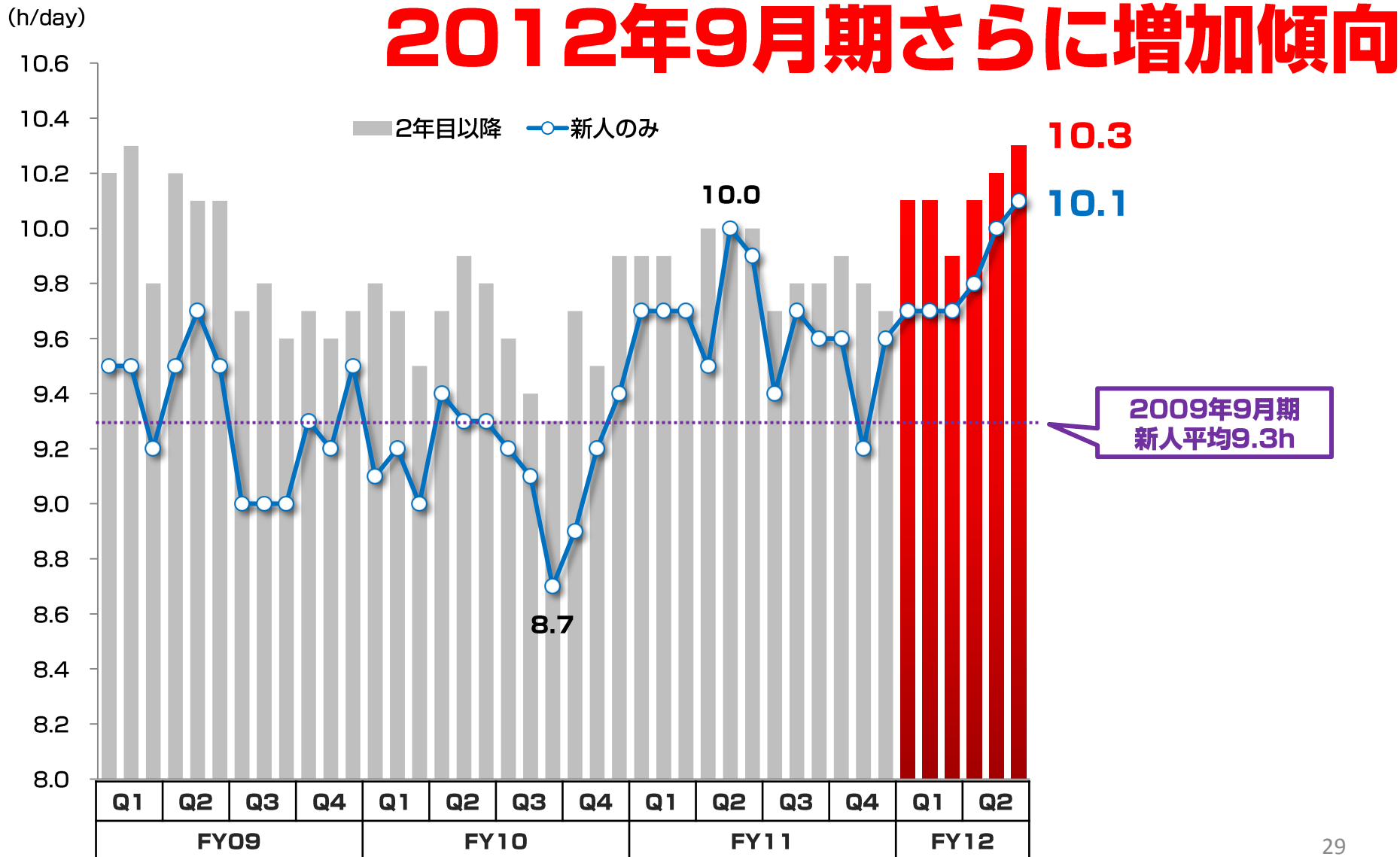


**2011年9月期より
新人稼働時間が増加傾向**

経営指標 (3) 稼働時間の推移



2012年9月期さらに増加傾向



売上構成4指標 サマリー



	FY11/Q2	FY12/Q2	増減
技術者数	804人	1,015人	211人
稼働率	97.7%	99.1%	1.4point
稼働時間	9.9h/day	10.1h/day	0.2h
派遣単価	2,881yen/h	2,985yen/h	104yen

全ての指標が増加傾向

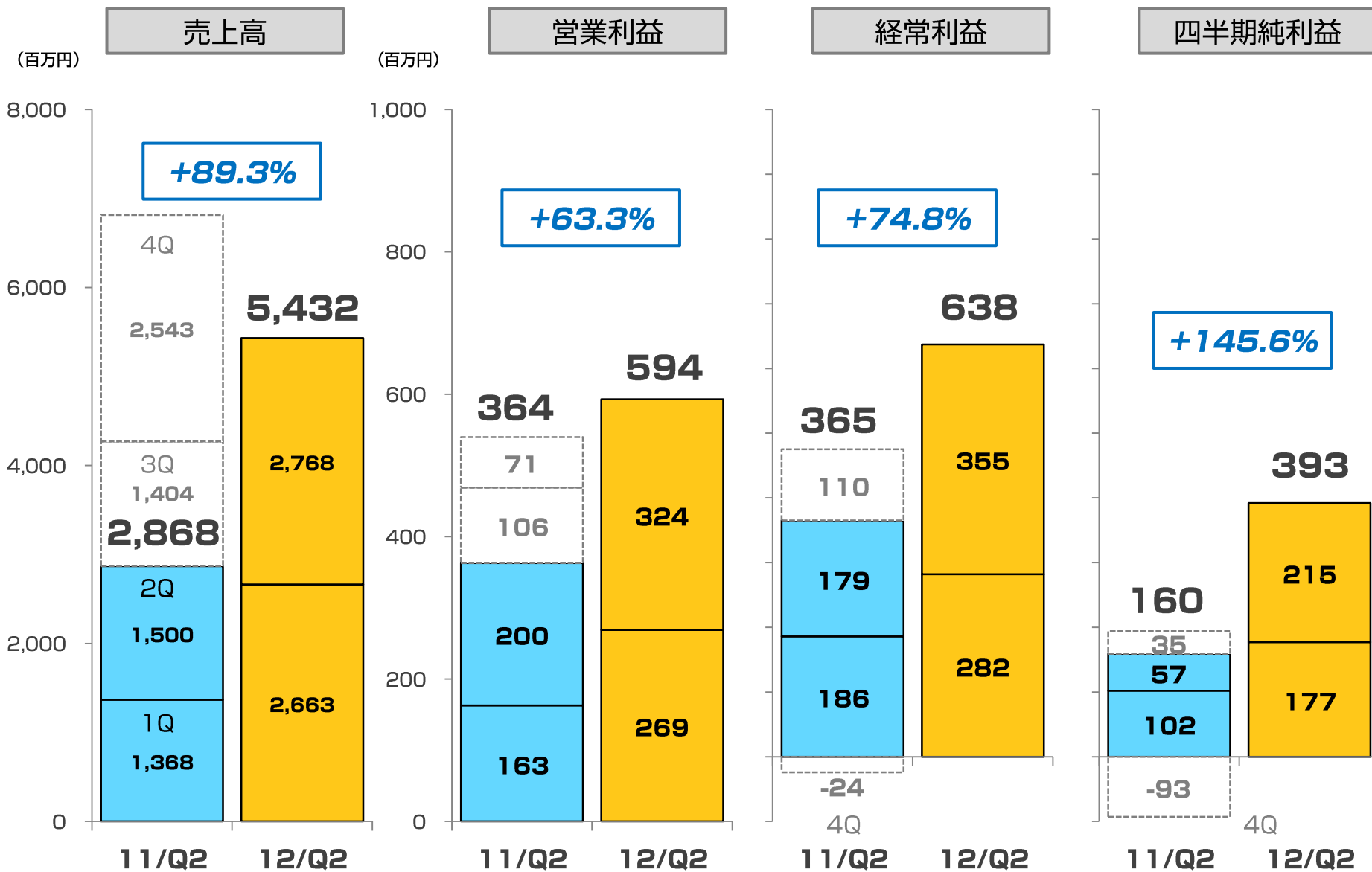
連結P/L サマリー



(百万円)

	FY11/Q2実績	FY12/Q2実績	増減額	増減率
売上高	2,868	5,432	2,563	89.3%
売上総利益	906	1,561	654	72.2%
販売費及び一般管理費	542	966	424	78.3%
営業利益	364	594	230	63.3%
経常利益	365	638	273	74.8%
四半期純利益	160	393	233	145.6%

連結P/Lの状況



下半期の動き

下半期の動き

TOPIC



- 1. 通期業績予想 上方修正**
- 2. 技術者採用 上方修正**
- 3. 東北営業所 技術者増員**

通期業績予想の修正



1. 連結

(百万円)

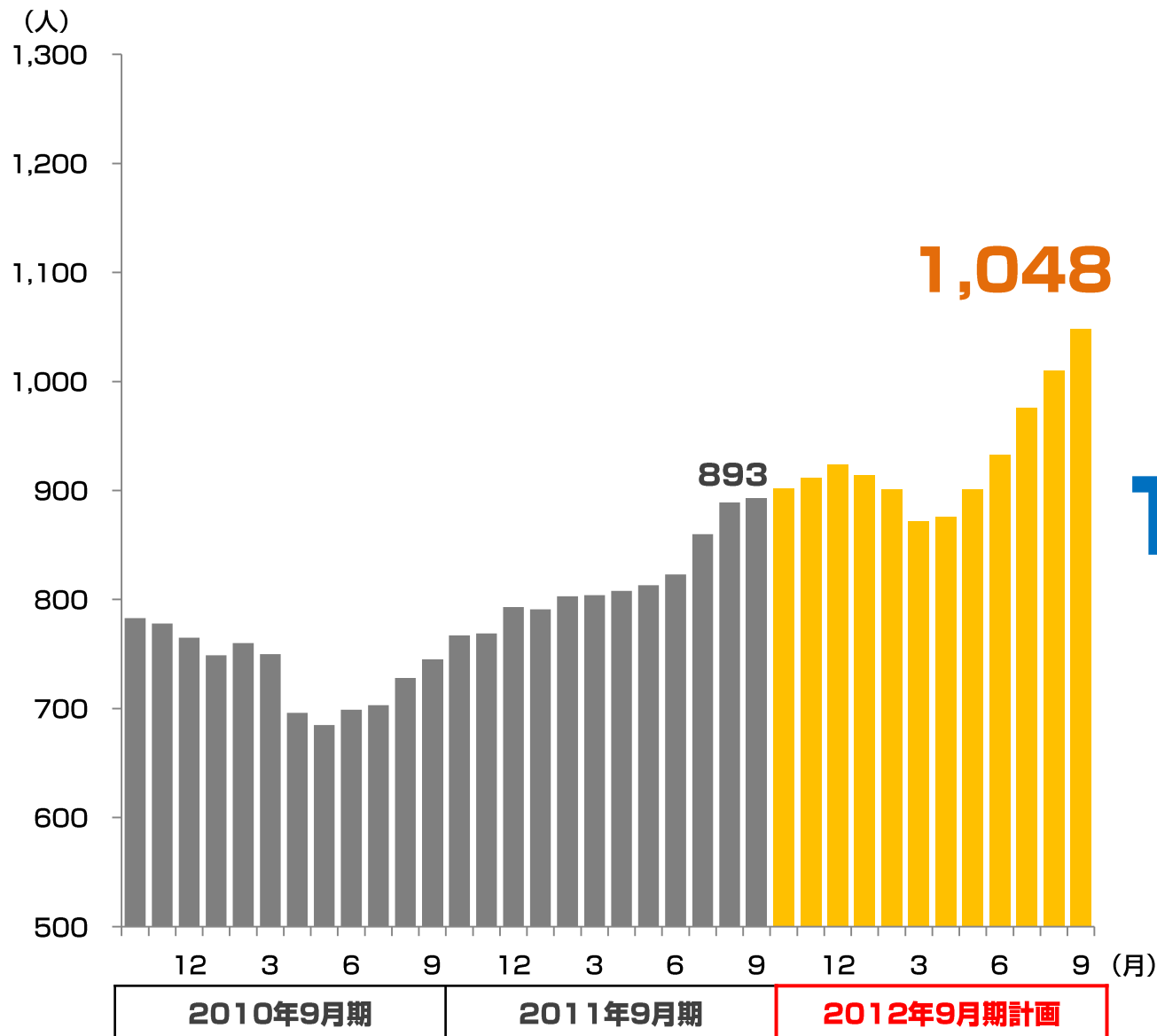
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	11,000	1,250	1,350	700	11.68
今回予想 (B)	11,200	1,300	1,400	850	14.52
増減額 (B-A)	200	50	50	150	
増減率	1.8%	4.0%	3.7%	21.4%	
前年同期実績 (2011年9月期)	6,816	542	451	102	1.71

2. 単体

(百万円)

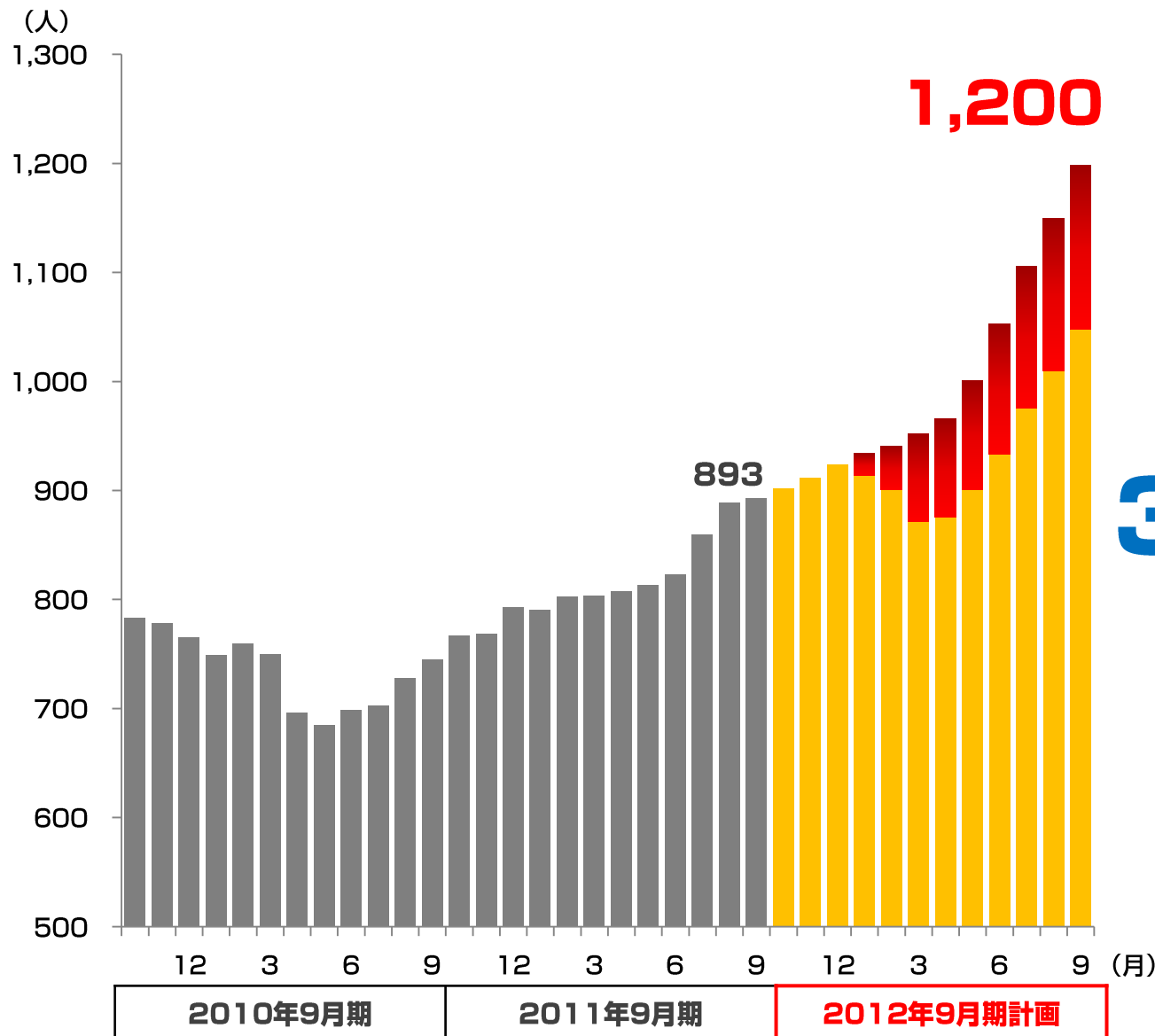
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,300	1,100	1,000	550	9.17
今回予想 (B)	6,700	1,200	1,150	650	11.10
増減額 (B-A)	400	100	150	100	
増減率	6.3%	9.1%	15.0%	18.2%	
前年同期実績 (2011年9月期)	5,459	728	535	244	4.07

技術者採用計画



※各月末技術者数

技術者採用計画の修正



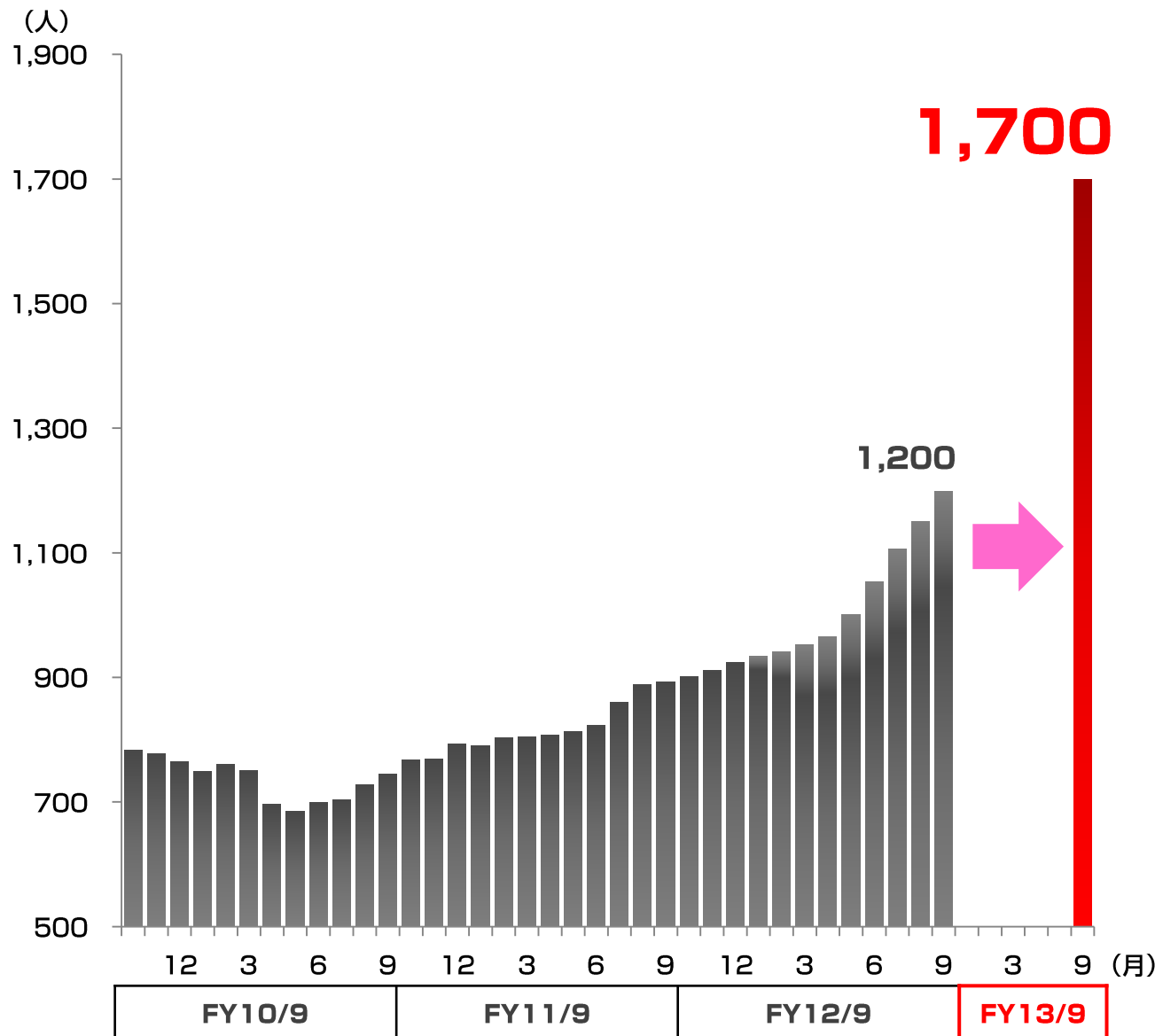
**採用計画
上方修正**

305人純増

期初計画155+増員150

※各月末技術者数

技術者採用計画



**2013年度
新卒採用
500人**

**2013年春
採用計画調査**
(日本経済新聞社まとめ)

18位

※各月末技術者数

技術者採用計画



2013年度
新卒採用
500人

2013年春
採用計画調査
(日本経済新聞社まとめ)

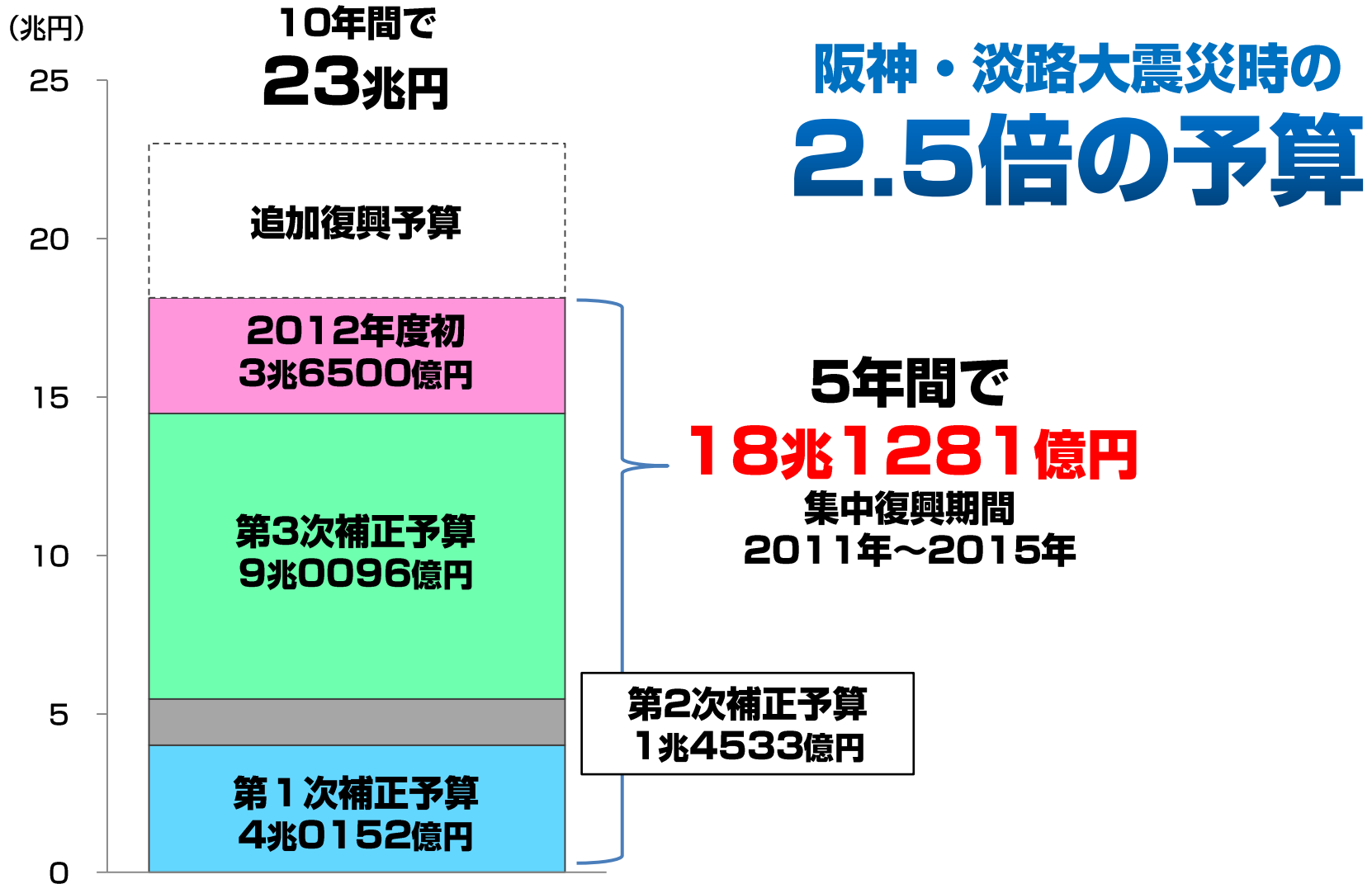
18位



東北復興



東北復興予算



1. 復興庁発足

被災地からの相談・要望の「ワンストップ対応」を目指す

- 1) 「復興特別区域」の認定
- 2) 「復興交付金」の配分

東京勤務者が半数以上、省庁の縦割り等課題も

2. 人件費の高騰を主因に工事の発注価格引き上げ

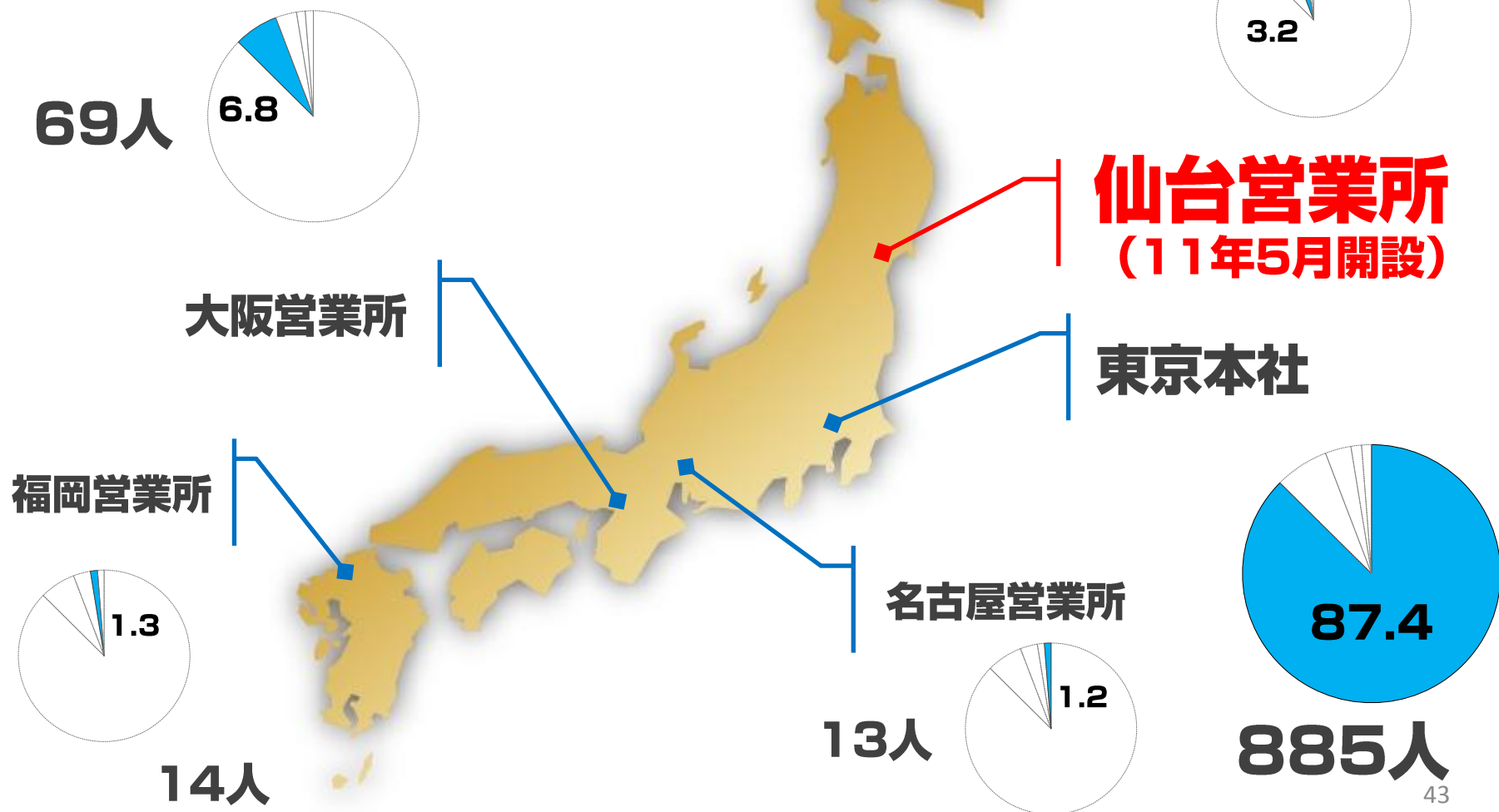
- 1) 岩手・宮城・福島の3県が対象
- 2) 県ごとに労務費単価を引き上げ（3ヶ月に1度見直し）
- 3) 被災地以外のゼネコンと被災地の建設会社共同で受注できる
「復興JV（共同事業体）」制度
- 4) 作業員の宿泊費も発注価格に反映

被災者の雇用が進まない恐れも

営業所の紹介



東北復興の一助となるべく 仙台営業所を開設

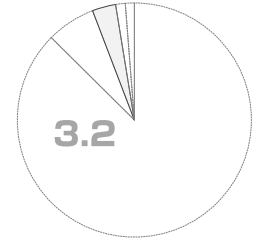


営業所の紹介



12年9月末までに
4倍増員へ

34人 → **120人**

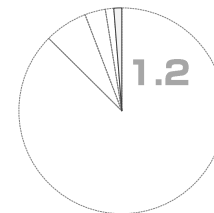


仙台営業所
(11年5月開設)

東京本社

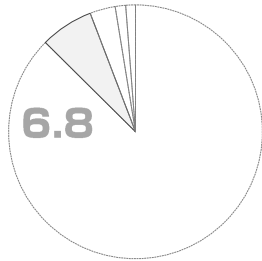
名古屋営業所

13人



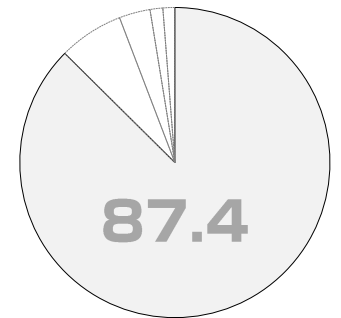
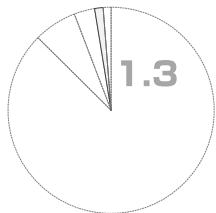
大阪営業所

69人



福岡営業所

14人



885人

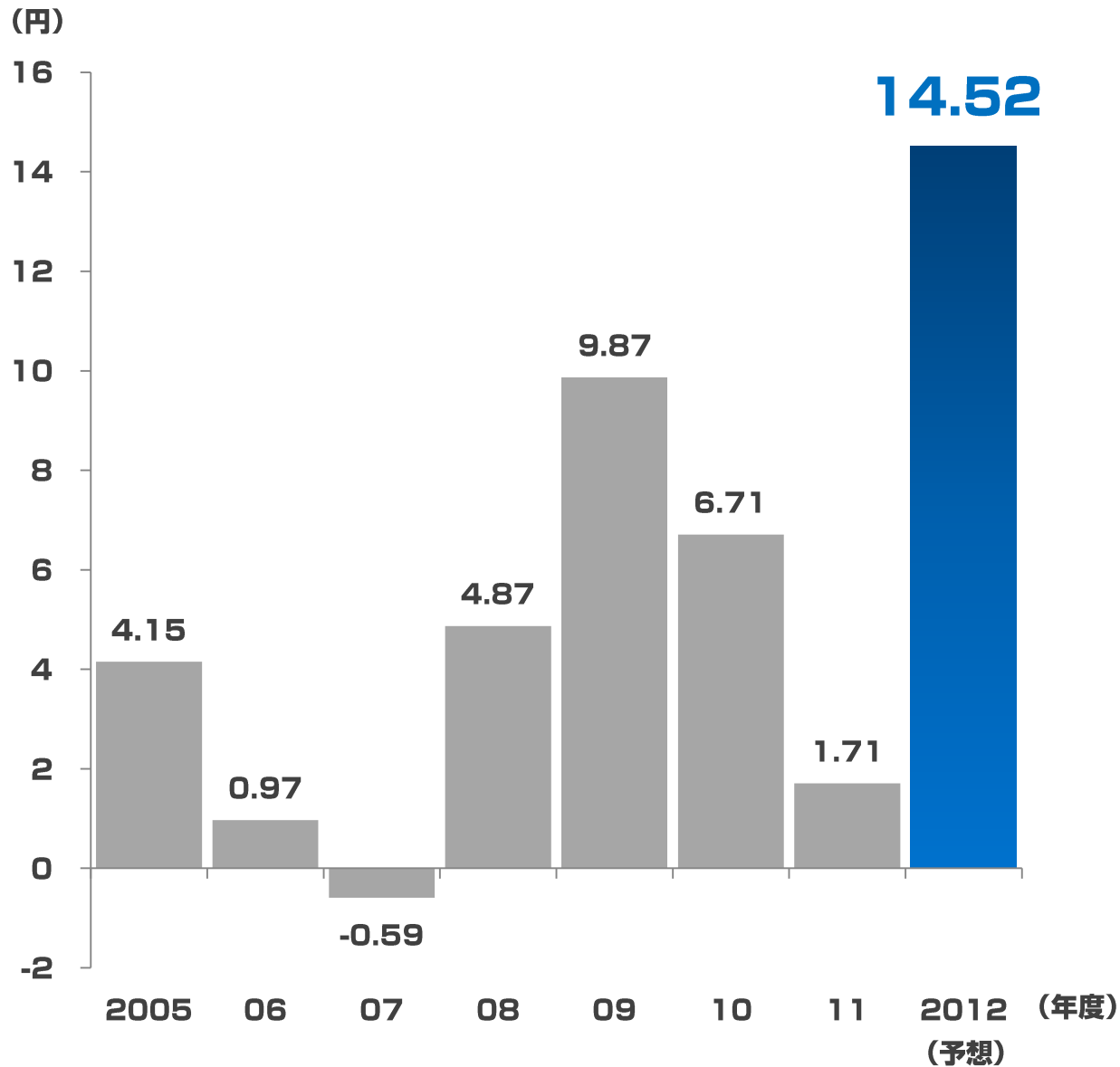


株主還元



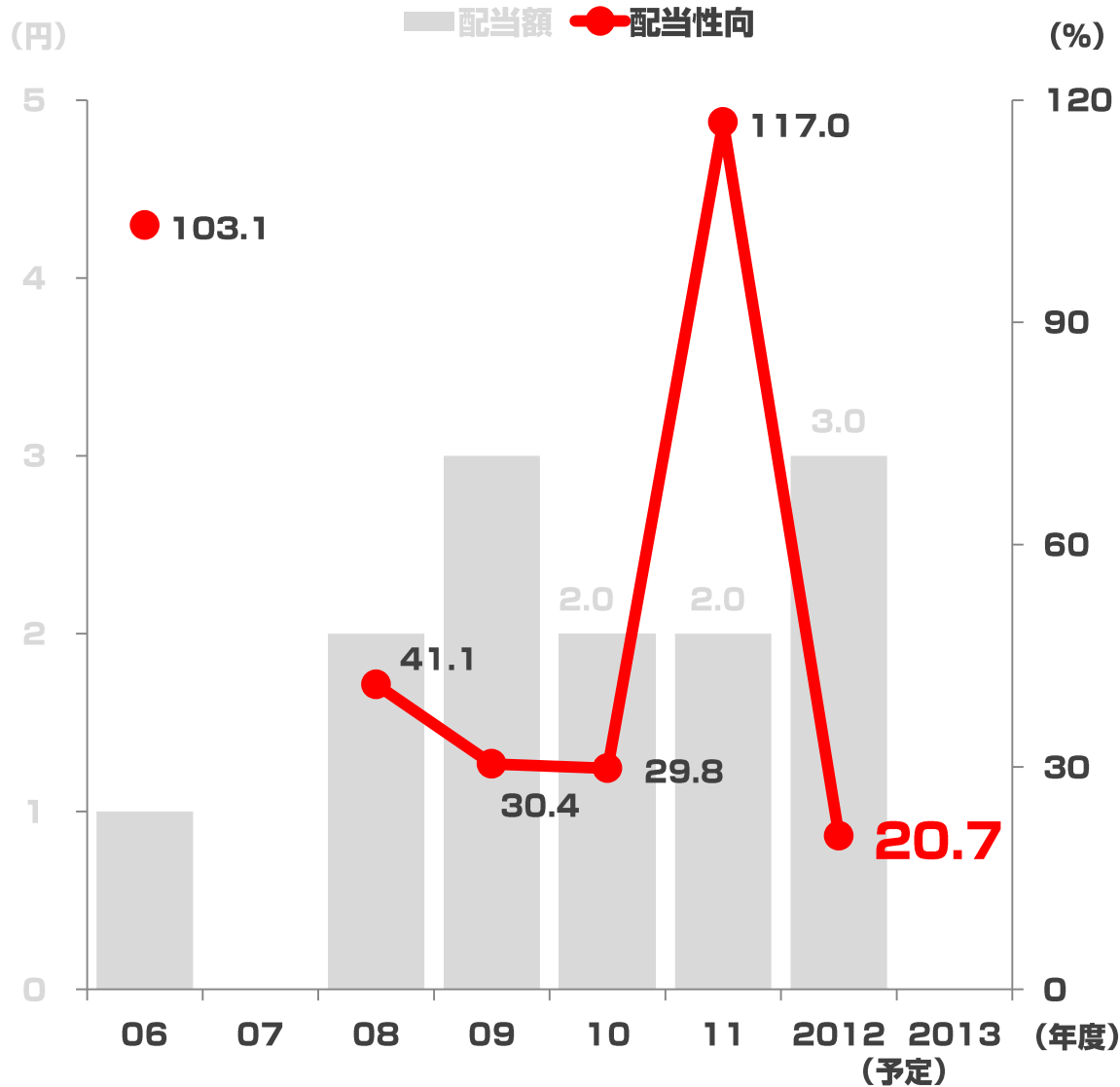
2362

一株当たり利益



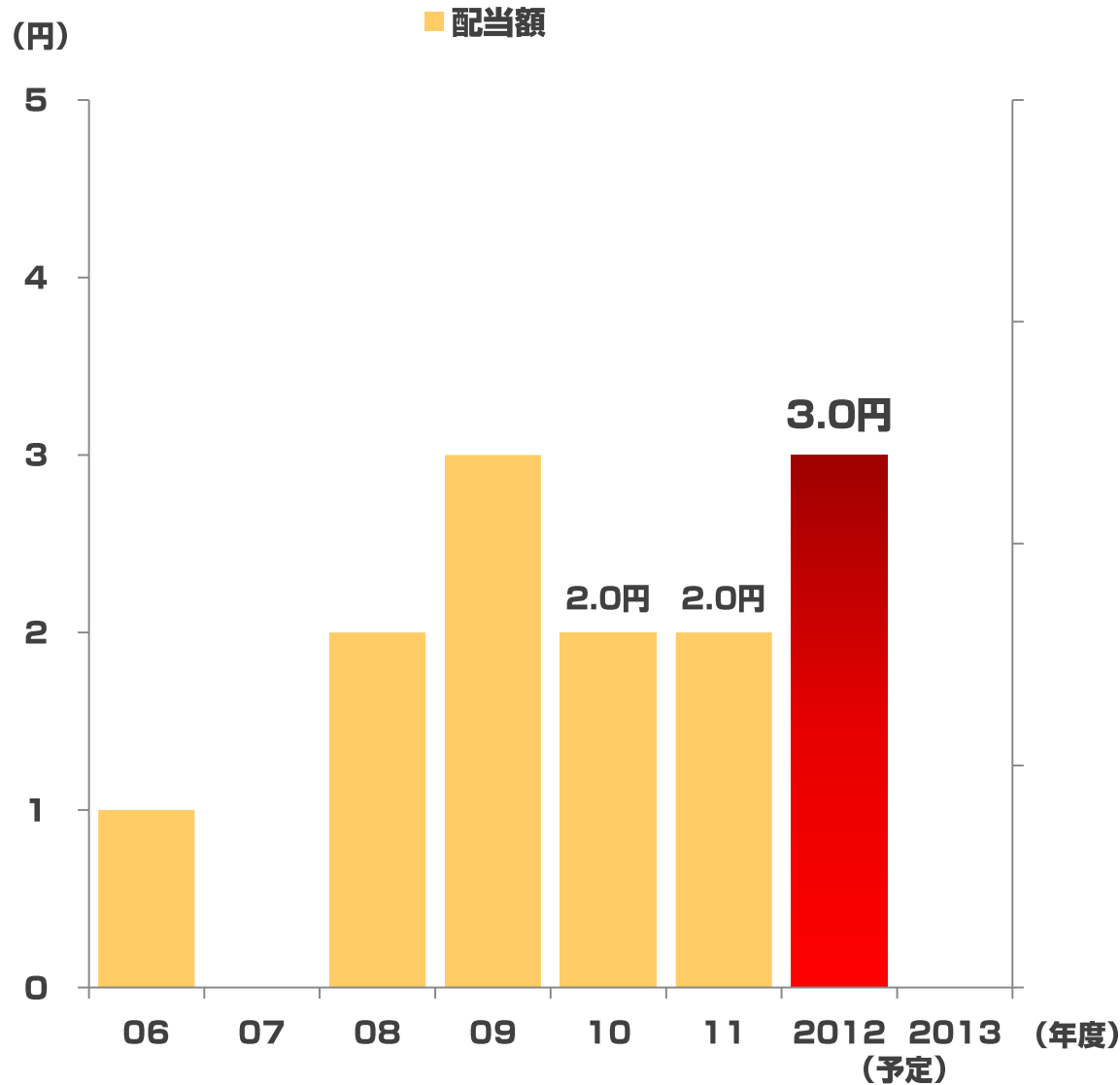
過去8年で
最高値

配当政策 (1)



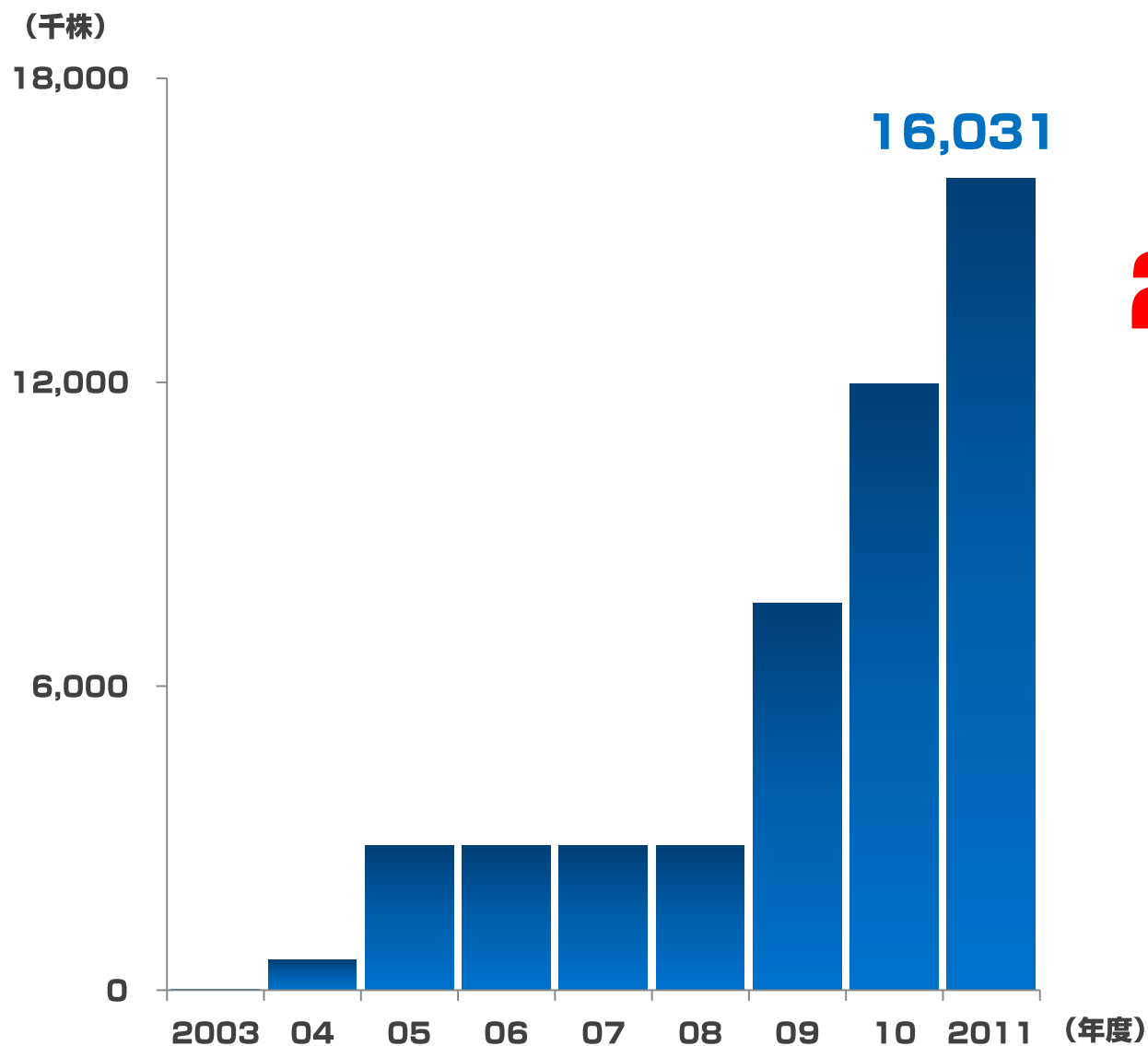
**配当性向
30%目標**

配当政策 (2)



**12年9月期
増配3.0円**

自己株式の取得



継続的に取得
21.5%保有

人と人とのめぐり合いで



みんなの夢を真にする会社

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものでもございませぬし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではございませぬ。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

<お問い合わせ>

〒112-0012

東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル

株式会社夢真ホールディングス IR室

TEL : 03-5981-0672 FAX : 03-5981-0711

E-mail : ir@yumeshin.co.jp

參考資料

会社概要



2011年9月30日現在

商号	株式会社夢真ホールディングス (YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	1980年1月
資本金	805,140,000円
発行済株式総数	74,573,440株
上場市場	大阪証券取引所JASDAQ (証券コード: 2362)
代表者	代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾
事業内容	建築技術者派遣事業・エンジニア派遣事業・子育て支援事業・医療介護支援事業
本社	東京都文京区大塚3丁目11番地6号
子会社	株式会社我喜大笑 (2009年10月設立・86.36%) 株式会社夢真メディカルサポート (2010年7月設立・100%) 株式会社ユニテックソフト (2011年1月子会社化・90%) 株式会社夢テクノロジー (2011年5月子会社化・84.65%)
従業員数	連結 1,883名 (単体 994名)

沿革

- 1980年 1月 「(有)佐藤建築設計事務所」を設立
- 1985年 4月 施工図作図のため海外ネットワーク形成へ着手
- 1987年 4月 海外設計事務所に施工図の発注を開始
- 1990年 10月 「(株)夢真」に社名変更
- 11月 大阪営業所を開設
- 1991年 3月 技術者派遣事業を開始
- 5月 名古屋営業所を開設
- 2001年 12月 カラーでの施工図作成開始
- 2003年 9月 大阪証券取引所ヘラクレス (現JASDAQ) に上場
- 2005年 4月 組織をホールディングス化
事業継承会社として「(株)夢真」を設立
- 2007年 10月 「(株)夢真ホールディングス」と「(株)夢真」が合併
- 2009年 10月 「(株)我喜大笑」を設立
- 2010年 7月 「(株)夢真メディカルサポート」を設立
- 2011年 1月 「(株)ユニテックソフト」を子会社化
- 5月 仙台営業所を開設
「(株)夢テクノロジー」を子会社化



派遣法改正案への対応

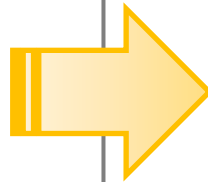
【労働者派遣法改正案 POINT】

~~1. 登録型派遣の原則禁止~~
専門26業務は例外

~~2. 製造業派遣の原則禁止~~
1年を超える常時雇用は例外

3. 日雇い派遣の原則禁止
日々又は30日以内の
労働者派遣を禁止

4. 派遣先労働者との均衡を考慮
派遣労働者の賃金等の決定の
際に均衡を考慮する



【影響&対応】

3について…
技術者は正社員雇用のため影響無し

※一部の期間社員が影響を受けるが
年間雇用化・常用雇用化で対応可能

4について…
研修の充実、
資格取得の補助により
技術者のスキルUPを
サポート

連結B/S (1) 資産の部



(百万円)

	2011年9月末	2012年3月末	増減額	摘要
資産の部	6,629	7,686	1,057	
流動資産	3,916	4,650	733	
現金及び預金	2,304	2,766	462	営業活動による増加
受取手形及び売掛金	1,425	1,625	200	
有価証券	0.7	4	3	
固定資産	2,712	3,035	323	
有形固定資産	1,387	1,381	▲6	
建物及び構築物	761	755	▲5	
その他	626	625	▲0.9	
無形固定資産	759	706	▲52	
のれん	717	670	▲47	規則的な償却による減少
投資その他の資産	566	948	382	
その他	613	994	380	
貸倒引当金	▲47	▲46	1	

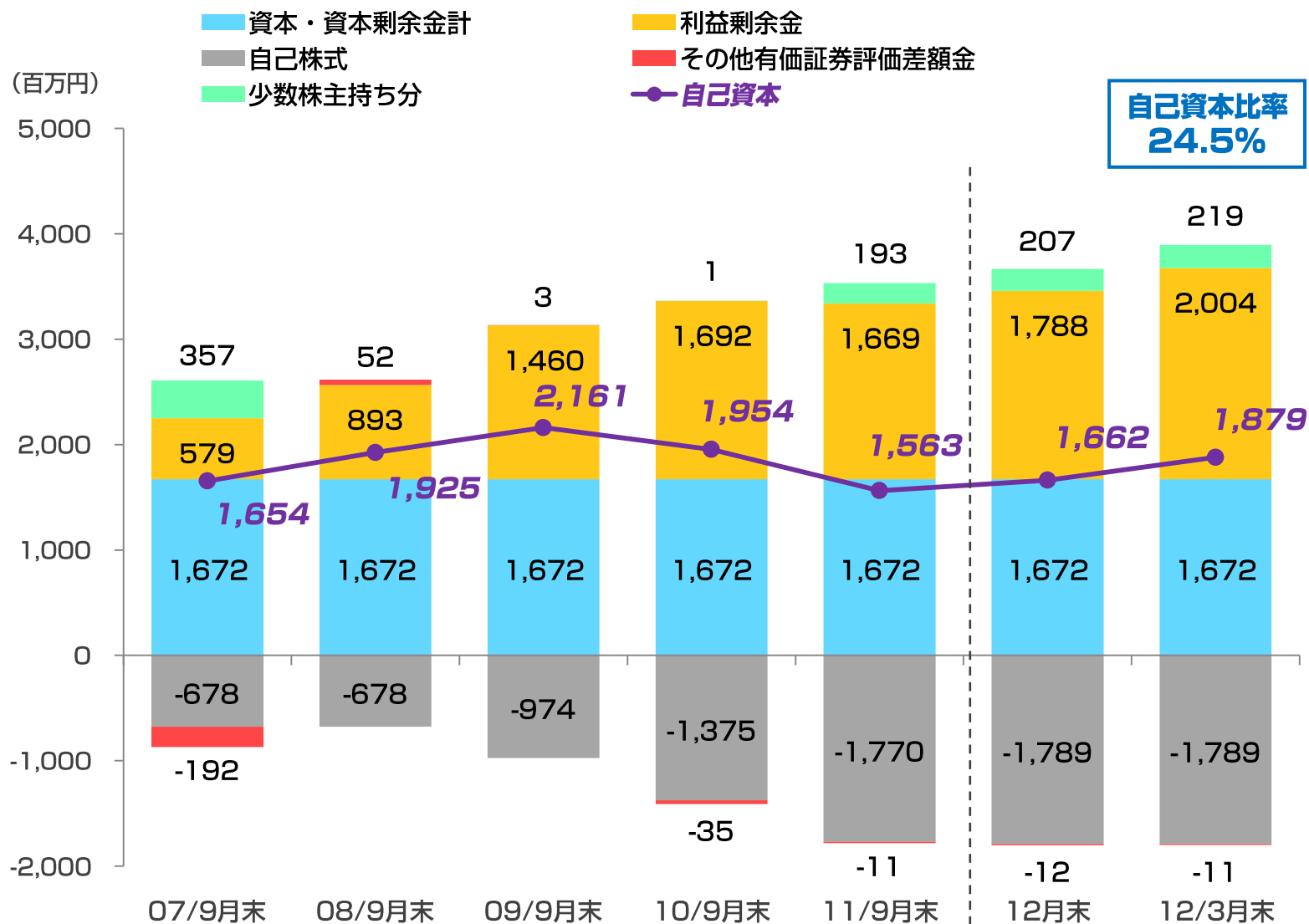
連結B/S (2) 負債・純資産の部



(百万円)

	2011年9月末	2012年3月末	増減額	摘要
負債の部	4,872	5,587	715	
流動負債	3,400	3,421	21	
短期借入金	26	1,264	1,238	社債償還のため借入れ
1年内償還予定の社債	1,240	—	—	社債償還による減少
1年内返済予定の長期借入金	929	895	▲33	
固定負債	1,472	2,166	694	
長期借入金	1,088	1,799	711	長期運転資金
純資産の部	1,757	2,099	342	
株主資本	1,572	1,887	315	
資本金	805	805	0	
資本剰余金	867	867	0	
利益剰余金	1,669	2,004	334	四半期純利益による増加
自己株式	▲1,770	▲1,789	▲19	
その他の包括利益累計額	▲11	▲11	0.2	
その他有価証券評価差額金	▲11	▲11	0.2	
新株予約権	3	3	0	
少数株主持分	193	219	26	

連結B/S (3) 自己資本推移

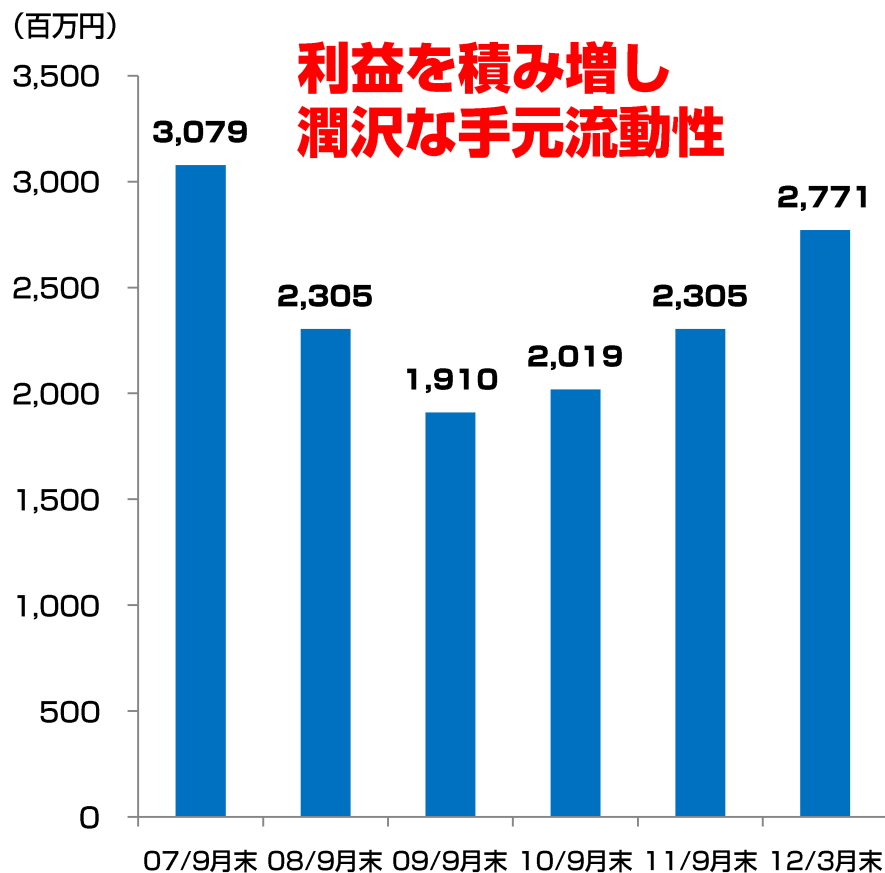


※自己資本＝純資産－少数株主持ち分

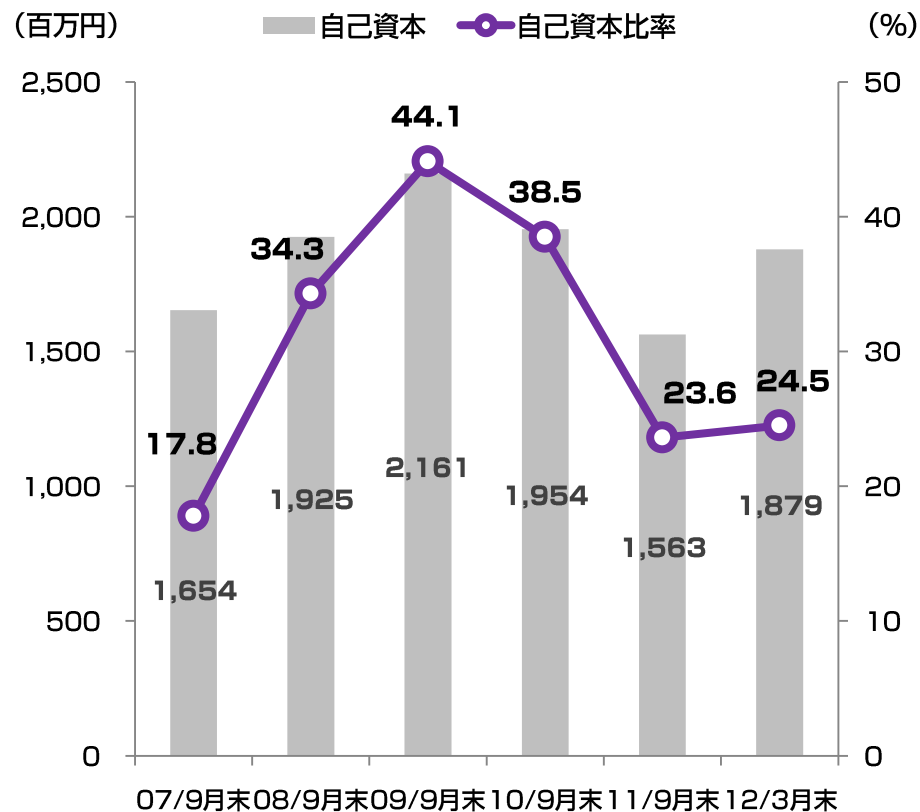
安全性指標 (1) 手元流動性・自己資本



手元流動性



自己資本比率

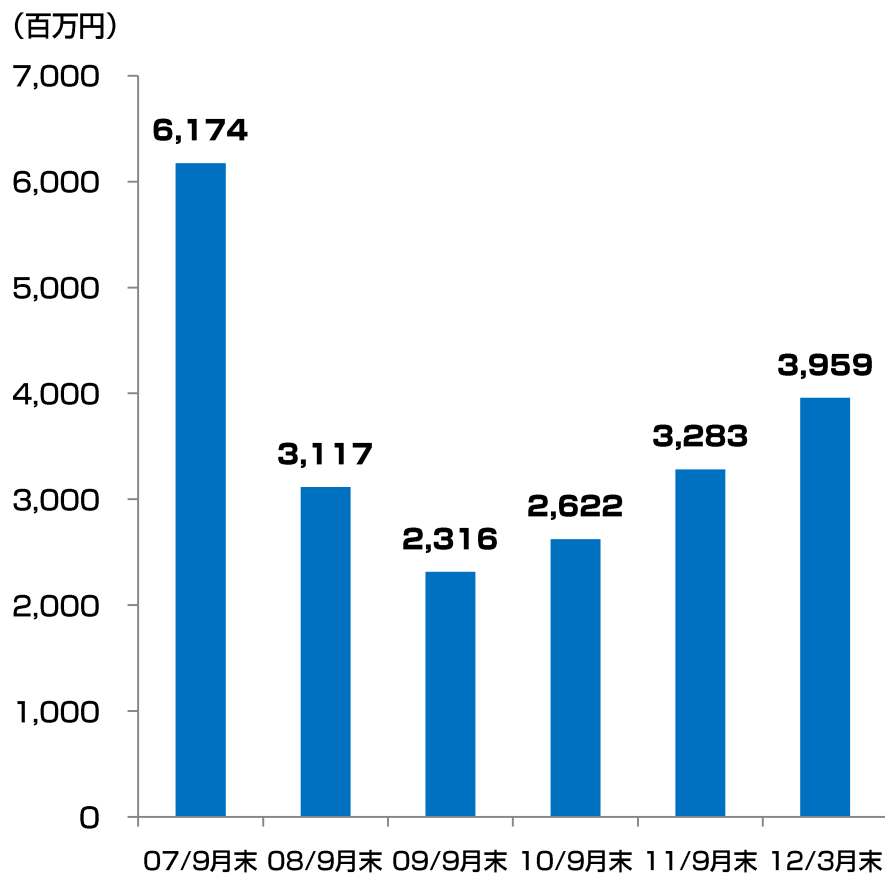


- ※ 1. 手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券
- 2. 自己資本=純資産-少数株主持ち分
- 3. 自己資本比率=自己資本÷総資産

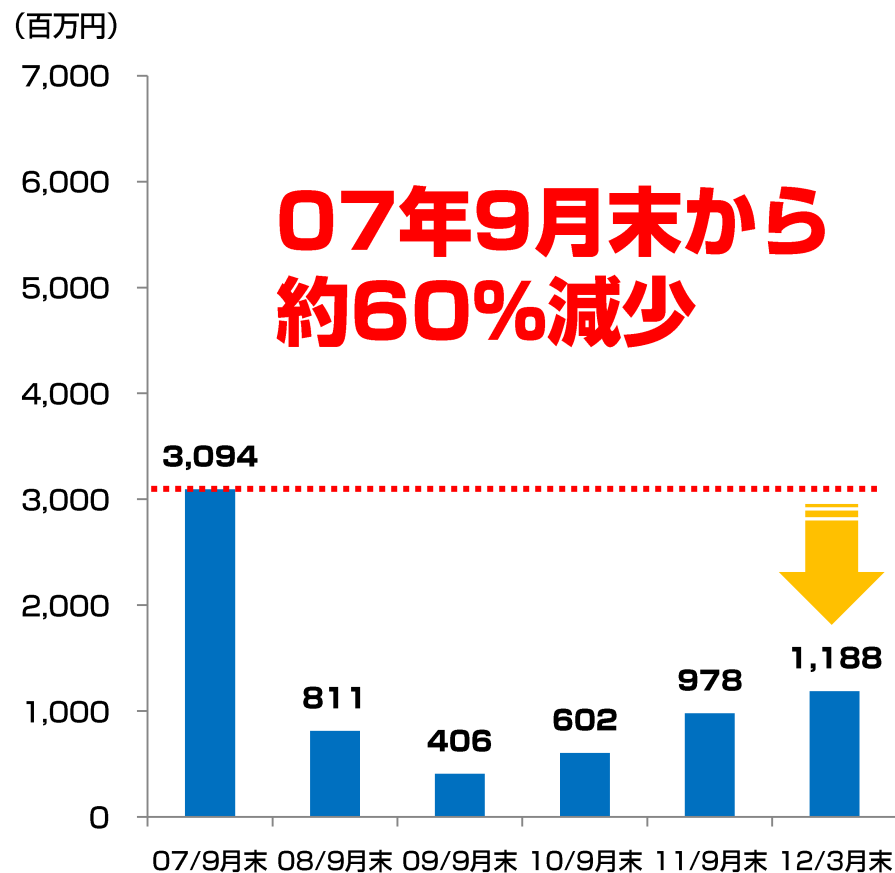
安全性指標 (2) 有利子負債



有利子負債



純有利子負債



※ 1. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

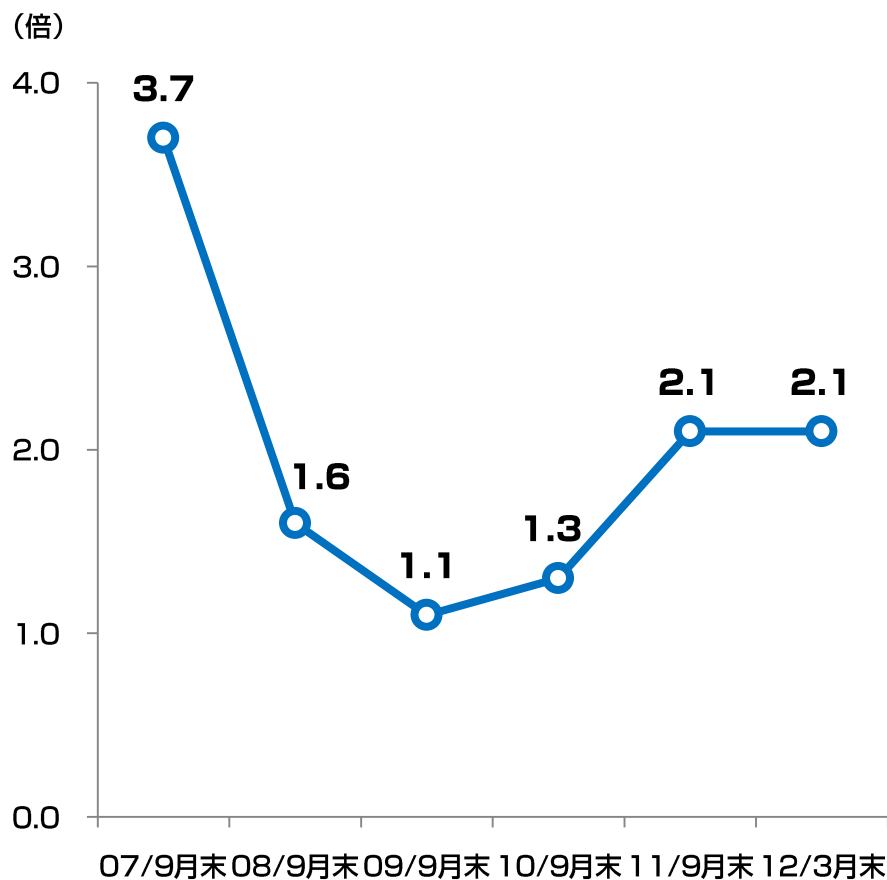
2. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債 (リース負債含まず)

3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

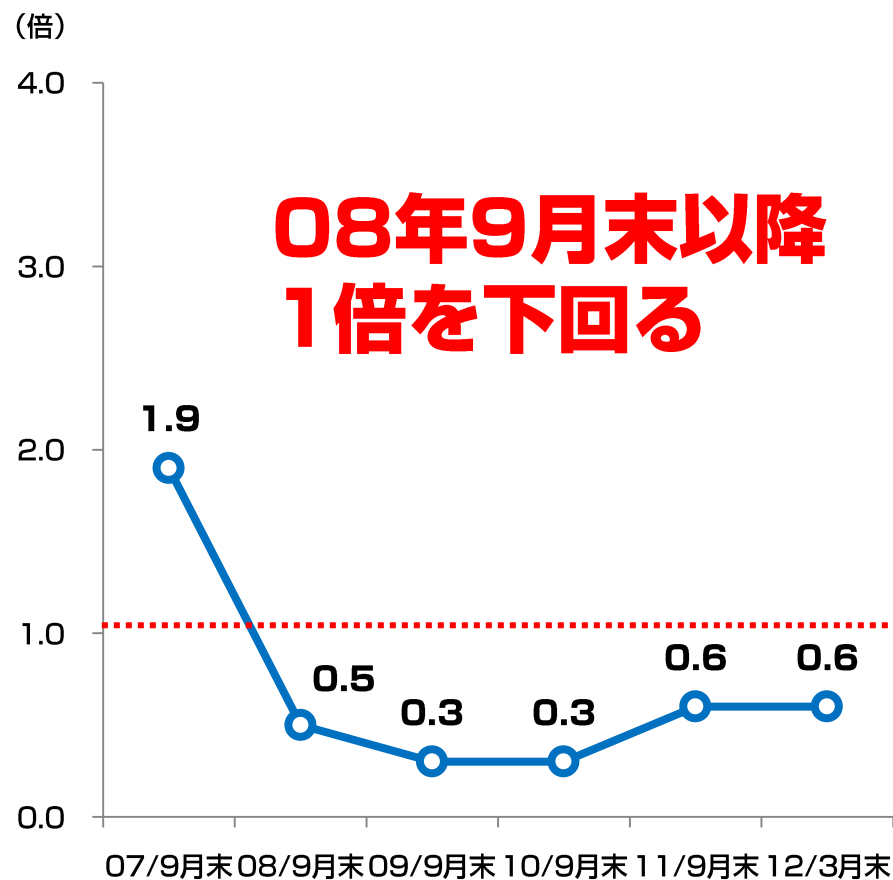
安全性指標 (3) D/Eレシオ



D/Eレシオ



ネットD/Eレシオ



- ※ 1. ネットD/Eレシオ＝純有利子負債÷自己資本
- 2. D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本
- 3. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性
- 4. 有利子負債＝短期借入金＋長期借入金＋一年以内返済予定長期借入金＋社債（リース負債含まず）
- 5. 手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券

単体P/L サマリー



(百万円)

	FY11/Q2実績	FY12/Q2実績	増減額	増減率
売上高	2,783	3,126	342	12.3%
売上総利益	924	1,053	128	13.9%
販売費及び一般管理費	473	518	44	9.5%
営業利益	450	534	83	18.6%
経常利益	420	510	90	21.5%
四半期純利益	215	302	87	40.3%

12年9月期 連結業績予想



(百万円)

	第2四半期			通期		
	2011/実績	2012/実績	増減率	2011/実績	2012/予想	増減率
売上高	2,868	5,432	89.3%	6,816	11,200	64.3%
営業利益	364	594	63.3%	542	1,300	139.9%
経常利益	365	638	74.8%	451	1,400	210.4%
四半期純利益	160	393	145.6%	102	850	733.3%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

12年9月期 単体業績予想



(百万円)

	第2四半期			通期		
	2011/実績	2012/実績	増減率	2011/実績	2012/予想	増減率
売上高	2,783	3,126	12.3%	5,459	6,700	22.7%
営業利益	450	534	18.6%	728	1,200	64.8%
経常利益	420	510	21.5%	535	1,150	114.6%
四半期純利益	215	302	40.3%	244	650	166.4%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

IR宣言

1. IR活動を経営上の最重要項目のひとつといたします
2. 株式公開企業として説明責任を果たし、常に明瞭な情報発信をいたします
3. すべてのステークホルダーにタイムリーかつ公平に情報発信いたします
4. 株主・投資家の皆様との信頼関係の構築に努めます
5. 上記事項を真摯に実践し、真の企業価値の創造に努めます

<IR活動指針>

- ①個人投資家向け会社説明会を年2回開催
- ②アナリスト・機関投資家向け決算説明会年2回開催
- ③上記説明会のIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りホームページに公開
- ④アナリスト・機関投資家との個別取材については、基本的にすべての取材依頼に対応
- ⑤上記個別取材においては、代表取締役の佐藤またはIR室のいずれかが対応
- ⑥決算報告動画を年4回ホームページならびに携帯サイトに掲載
- ⑦株主通信の年2回の郵送とホームページでの掲載
- ⑧決算説明会資料を中心とした各種IR資料の継続的な改革
- ⑨投資家情報ページの充実
- ⑩個人投資家向け会社説明会及びアナリスト・機関投資家向け決算説明会の動画配信を実施
- ⑪株主・投資家の声を取締役会で報告
- ⑫年間IR活動（予定）をホームページにアップ
- ⑬電話やメールでの問い合わせについては、基本的にすべてに対応
- ⑭よくあるご質問に関しては、ホームページのFAQに掲載
- ⑮上記の具体的活動進捗状況を定期的にホームページに掲載